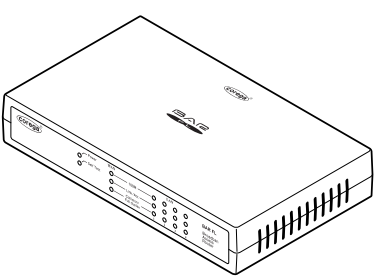
corega

CG-BARFL

取扱説明書



PN Y613-03254-00 Rev.A1

安全にお使いいただくために 必ずお守りください

本書では、製品を安全にお使いいただくための注意事項を次のように記載しています。

注意事項を守っていただけない場合、どの程度の影響があるかを表しています。

⚠警告	人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。

注意事項を守っていただけない場合、発生が想定される障害または事故の内容を表しています。

	感電の可能性が想定されることを示します。		発煙または発火の可能性が想定されることを示します。
	けがを負う可能性が想定されることを示します。		

障害や事故の発生を防止するための、その他の注意事項は次のマークで表しています。

	電源プラグを抜く 電源ケーブルのプラグを抜くように指示するものです。

⚠警告

分解や改造をしない

本製品は、取扱説明書に記載のない分解や改造はしないでください。
火災や感電、けがの原因となります。内部の点検・調整・清掃・修理は、弊社サポートセンターにご依頼ください。

雷のときはケーブル類・機器類にさわらない

感電の原因となります。

設置・移動のときは電源プラグを抜く

感電の原因となります。

異物は入れない　水は禁物

火災や感電の恐れがあります。水や異物を入れないように注意してください。万一水や異物が入った場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。(弊社サポートセンターまたは販売店にご連絡ください。)

湿気やほこりの多いところ、油煙や湯気のあたる場所には置かない

内部回路のショートの原因になり、火災や感電の恐れがあります。

交流 100V の電源でお使いください

異なる電源電圧で使用すると、火災や感電の原因となります。

添付の専用 AC アダプター以外で使用しない

火災や感電の原因となります。必ず、添付の専用 AC アダプターを使用してください。

専用 AC アダプターのコードを傷つけない

火災や感電の原因となります。

電源コンセントや配線器具の定格を超える使い方はしない

たこ足配線などで定格を超えると発熱による火災の原因となります。

ご使用にあたってのお願い

次のような場所での使用や保管はしないでください。

・直射日光の当たる場所
・暖房器具の近くなどの高温になる場所
・急激な温度変化のある場所（結露するような場所）
・湿気の多い場所や、水などの液体がかかる場所（湿度80%以下の環境でご使用ください）
・振動の激しい場所
・ほこりの多い場所や、ジュータンを敷いた場所（静電気障害の原因になります）
・腐食性ガスの発生する場所

静電気注意

本製品は、静電気に敏感な部品を使用しています。部品が静電破壊する恐れがありますので、コネクターの接点部分、ポート、部品などに素手で触れないでください。

取り扱いはていねいに

落としたり、ぶつけたり、強いショックを与えないでください。

お手入れについて

清掃するときは電源を切った状態で

誤動作の原因になります。

機器は、乾いた柔らかい布で拭く

汚れがひどい場合は、柔らかい布に薄めた台所用洗剤（中性）をしみこませ、堅く絞ったものでふき、乾いた柔らかい布で仕上げてください。

お手入れには次のものは使わないでください

石油・みがき粉・シンナー・ベンジン・ワックス・熱湯・粉せっけん（化学ぞうきんをご使用のときは、その注意書に従ってください）。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

作業の流れ

本書では、本製品を使ってインターネットに接続できるようになるまでの作業をステップに分けて説明しています。各ステップでの作業は次のとおりです。順番に読んで、作業を進めてください。

STEP1

まず準備が必要

① 添付品の確認
② ご使用の環境の確認
　プロバイダーとの契約が済んでいるか、モデムなど必要な機器の準備ができているか、などを確認してください。
③ 本製品の特長、各部の名称と役割の確認

STEP2

ネットワークに接続しよう

① パソコンのネットワーク設定
　使用する OS に対応したページを読んでください。
② 本製品とパソコンの接続
③ 本製品の設定
　インターネット接続のための最小限の設定をします。ご利用になるプロバイダー、回線などによって、設定内容が異なります。該当するページを読んでください。
④ 本製品とモデムの接続
⑤ インターネットへの接続

STEP2 までの作業が終われば、インターネットに接続できるようになります。
STEP3 以降は、必要に応じて読んでください。

STEP3

設定ユーティリティーを見てみよう

本製品は、内蔵の設定ユーティリティーによって、詳細な設定ができます。このステップでは、設定ユーティリティーで設定できる項目について説明しています。

STEP4

こんなときにはこの設定

ネットワークゲーム、音声／ビデオチャットを利用する際の本製品での設定方法について説明しています。

STEP5

トラブルや疑問があったら

STEP4 までの作業で、インターネットへの接続ができなかった場合や、本製品の操作でわからないことがあった場合には、このステップを読んで解決方法を探してください。

STEP6

付録

仕様、保守サービスに関する説明があります。

はじめに

このたびは、「CG-BARFL」をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。本書は、本製品を正しくご利用していただくための手引きです。必要なときにいつでも参照していただけるように、大切に保管してください。

コレガ製品に関する最新情報（ファームウェアのバージョンアップ情報など）は、弊社のホームページでお知らせします。

http://www.corega.co.jp/

本書の読み方

本書で使用している記号や表記には、次のような意味があります。

●記号について

	操作中に気を付けていただきたい内容です。必ずお読みください。
	補足事項や、参考となる情報を説明しています。

●表記について

本製品	CG-BARFL を指します。
「 」－「 」－「 」	「 」で囲まれた項目を順番に選択することを示します。
[ ]	[ ] で囲んである文字は画面上のボタンを表します。

●イラスト、画面について

本文中に記載のイラストや画面は、実際と多少異なることがあります。

●正式名称について

本書で使用しているソフトウェア名の正式名称は以下のとおりです。

- Windows® の正式名称は、Microsoft® Windows® Operating System です。
- Windows® XP は、Microsoft® Windows® XP Home Edition operating system および Microsoft® Windows® XP Professional operating system の略です。
- Windows® 2000は、Microsoft® Windows® 2000 Professional operating system の略です。
- Windows NT4.0 は、Microsoft® Windows® NT workstation operating systemの略です。
- Windows® Me は、Microsoft® Windows® Millennium Edition operating system の略です。
- Windows® 98SEは、Microsoft® Windows® 98 Second Edition operating system の略です。
- Windows® 98 は、Microsoft® Windows® 98 operating system の略です。
- Windows® 95 は、Microsoft® Windows® 95 operating system の略です。
- 本書では、Windows® 98とWindows® 98SEを含めて、Windows 98と表記しています。

目次

安全にお使いいただくために 必ずお守りください …… 1

作業の流れ …… 4
はじめに …… 4
本書の読み方 …… 4

STEP1　まず準備が必要 …… 9

添付品の内容を確認しよう …… 9
ご使用の環境を確認しよう …… 10
　チェック 1 プロバイダーとの契約、工事は完了していますか？ …… 10
　チェック 2 モデムやケーブルはそろっていますか？ …… 10
　チェック 3 設定に必要な情報は準備できていますか？ …… 10
　チェック 4 パソコンの環境はそろっていますか？ …… 11
製品の特長をとらえよう …… 11
各部の名称と機能を覚えよう …… 12
　本体前面 …… 12
　本体背面 …… 13
　本体底面 …… 14

STEP2　ネットワークに接続しよう …… 15

パソコンのネットワーク設定をしよう …… 15
　Windows XP で利用しよう …… 15
　Windows 2000 で利用しよう …… 19
　Windows Me/98/95 で利用しよう …… 24
Web ブラウザーの設定をしよう …… 28
パソコンと本製品を接続しよう …… 30
　本製品を設置する場所について …… 30
　マグネットの取り付け方 …… 31
　本製品の電源を入れるには …… 31
　パソコン、モデムと本製品を接続する …… 32
本製品の設定をしよう …… 33
　簡単に接続しよう …… 33
インターネットに接続してみよう …… 39
　他のパソコンを接続する場合 …… 39

STEP3　設定ユーティリティーを見てみよう …… 40

設定ユーティリティーの使い方 …… 40
　設定ユーティリティーの全体構成について …… 40
　設定画面の各機能 …… 41
　　Home ～WAN 側、LAN 側の現在の設定を表示する、設定ユーティリティーを終了する～ …… 42

簡単設定　～まずインターネットに接続する～ …… 42
アドバンスド設定　～より高度な機能を設定をする～ …… 42
LAN 側の設定　～パソコン（LAN）側の設定をする～ …… 44
WAN 側の設定　～インターネット（WAN）側の設定をする～ …… 45
DMZ 設定　～ DMZ 機能を使って IP アドレスを設定する～ …… 47
バーチャルサーバー　～インターネット上にサーバーを公開する～ …… 48
セキュリティ設定　～外部からの不正なアクセスを防ぐ～ …… 49
DHCP 設定　～ DHCP 機能で IP アドレスを割り当てる～ …… 51
ログ表示　～ログ情報を表示する～ …… 52
UPnP 設定　～ UPnP サーバーを設定する～ …… 52
IPv6 設定　～ IPv6 を使う～ …… 53
システム情報　～現在の設定状態を表示する～ …… 53

STEP4　こんなときにはこの設定 …… 55

ネットワークゲームをするには …… 55
音声／ビデオチャットなどのツールを使うには …… 56
外部にサーバーを公開するには …… 57
マルチ PPPoE で 2 つの接続先を使い分けるには（プロバイダー、とフレッツ・スクウェア／フレッツ・グループアクセス／フレッツ・グループ／フレッツ・コネクト／フレッツ・コミュニケーションを利用する）…… 58

STEP5　トラブルや疑問があったら …… 60

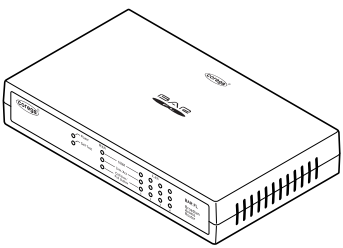
解決のステップ …… 60
取扱説明書や契約書を再確認する。管理者に確認する …… 61
Q&A …… 61
インターネットに接続できない …… 61
パソコン同士がつながらない …… 63
本製品の設定ユーティリティーが起動しない …… 63
本製品の設定ユーティリティーにログインできない …… 64
ファームウェアのアップデートに失敗した …… 64
パソコンの IP アドレスを調べたい …… 64
本製品のユーザー名、パスワードを変更したい …… 65
最新のファームウェアを入手してアップデートする …… 66
本製品を再起動する …… 68
本製品を工場出荷時の状態にもどす …… 69
コレガのホームページの情報を活用する …… 70

STEP6　付録 …… 71

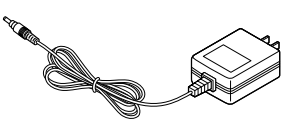
製品仕様 …… 71
MAC アドレスについて …… 71
索引 …… 73
おことわり …… 76
保証と修理について …… 78
製品に関するご質問は …… 巻末

添付品の内容を確認しよう

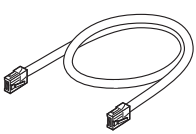
本製品のパッケージには、以下のものが同梱されています（下記以外に添付品が同梱されている場合があります）。お買い上げ商品についてご確認いただき、万一不足するものがございましたら、お手数ですが、ご購入元までご連絡ください。詳しくは、取扱説明書裏表紙の「製品に関するご質問は…」をご覧ください。



□CG-BARFL 本体



□専用 AC アダプター

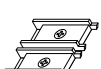


□LAN ケーブル

□クイック設定ガイド

□製品保証書

□取扱説明書（本書）



□マグネット（2 個）

ご使用の環境を確認しよう

本製品を接続する前に、以下の項目を確認し、☑のようにチェックを付けてください。

注意 **会社などで専用線を利用する場合は、ネットワーク管理者にご相談のうえ、必要な機器の準備、設定を行ってください。**

チェック1

☐ プロバイダーとの契約、工事は完了していますか？

本製品を使ってインターネットに接続するには、フレッツ·ADSL、Bフレッツなどの回線を使ったインターネット接続サービスへの加入が必要です。また、プロバイダーによる工事が完了するまでは、インターネットへの接続はできません。

チェック2

☐ モデムやケーブルはそろっていますか？

回線と接続するには、回線の種類に応じたモデムなどが必要になります。また、回線への接続が正しくできているか、確認してください。確認方法については、ご契約のプロバイダーにお問い合せください。

本製品とパソコンを接続するには、LANケーブルが必要になります。LANケーブルを購入される場合は、カテゴリー５のLANケーブル（ストレートタイプ）のものをご購入ください。

なお、本製品とモデムとの接続には、LANケーブル(ストレートタイプまたはクロスタイプ)を使用してください。

チェック3

☐ 設定に必要な情報は準備できていますか？

本製品の設定を行う際に、以下の情報が必要です。プロバイダーとの契約時に、以下のような情報が提供されますので契約書類などで確認し、メモしておいてください。不明な場合はご契約のプロバイダーにお問い合わせください。

- ユーザー名
- パスワード
- サービス名（プロバイダーから指定された場合のみ）
- DNSサーバーのIPアドレス（プロバイダーから指定された場合のみ）

注意 **上記の名称は、プロバイダーによって異なる場合があります。**
例：ユーザー名→アカウント、ユーザーID、ログインIDなど
ご不明な点は、ご契約のプロバイダーに確認してください。

チェック4

パソコンの環境はそろっていますか？

本製品とパソコンを接続するには、パソコン側に以下の環境が必要です。

LAN コネクター（10BASE-T/100BASE-TX ポート）	LAN コネクターがない場合は、ご利用のパソコンに合わせて次のいずれかの方法で、LAN コネクターを増設してください。増設方法については、パソコン、またはLAN ボード、LAN カード、LAN アダプターの取扱説明書を参照してください。 ・ 拡張スロット（PCI バスまたはISA バス）に LAN ボードを取り付ける ・ PC カードスロットにLAN カードを取り付ける ・ USB コネクターにLAN アダプターを取り付ける
OS	本製品は、Windows 98/Me/2000/XP、Mac OS ※ Mac OS では本製品の設定を変更できません。
Web ブラウザー	本製品の設定は、Web ブラウザー（フレームに対応しているもの）で行います。パソコンに次のいずれかの Web ブラウザーがインストールされているか、確認してください。 ・Microsoft Internet Explorer 5.5 以降 **推奨ブラウザー** OS：推奨ブラウザー Windows XP：Microsoft Internet Explorer 6.0 SP1 以降 Windows 2000：Microsoft Internet Explorer 6.0 SP1 以降 Windows Me：Microsoft Internet Explorer 5.5 Windows 98：Microsoft Internet Explorer 5.5

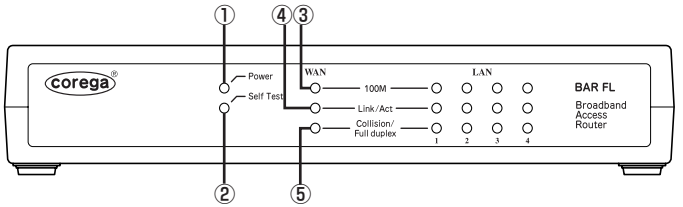
製品の特長をとらえよう

本製品には、次のような機能があります。

- フレッツ･ADSL/B フレッツ / フレッツ･ドット･ネット（IPv6 ブリッジ）対応
- WAN ポートは 10BASE-T/100BASE-TX 対応
- NAT/IP マスカレード機能で、複数のパソコンから同時にインターネット接続可能
- セットアップウィザードによる簡単インターネット接続
- 簡単 Web 設定
- Web 管理ツールによりファームウェアのアップグレードが可能
- UPnP、NetMeeting、MSN Messenger、Windows Messenger などに対応

各部の名称と機能を覚えよう

■本体前面



① Power LED （緑）

本製品の電源が入っているときに、緑色に点灯します。

② Self Test LED （橙）

システム初期化時のセルフテストの状況が表示されます。
　点灯：セルフテストの結果、異常がありました。
　点滅：本製品の起動中です。
　消灯：本製品は正常に動作しています。

③ 100M LED（緑）

本体背面の WAN ポートまたは LAN ポートの動作速度が表示されます。
　点灯：100M bps で動作しています。
　消灯：10M bps で動作しています。

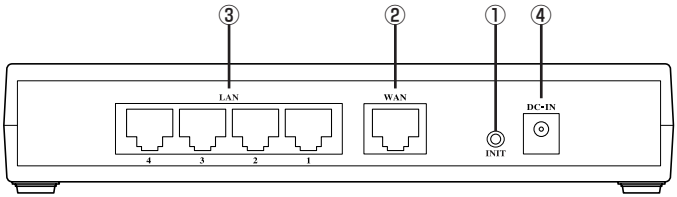
④ Link/Act LED（緑）

本体背面の WAN ポートまたは LAN ポートの状態が表示されます。
　点灯：ケーブルが正常に接続されています。
　点滅：データ通信中です。
　消灯：ケーブルが接続されていません。

⑤ Collision/Full duplex LED（緑）

本体背面の WAN ポートまたは LAN ポートの状態が表示されます。
　点灯：Full duplex で通信しています。
　点滅：コリジョン（データの衝突）が発生しています。
　消灯：Half duplex で通信しています。

■本体背面



① LAN ポート

パソコンやハブを接続するためのポートです。１～４までの４つのポートがあります。
100M bps/10M bpsの切り替えは、オートネゴシエーション機能によって自動的に行われます。

② WAN ポート

本製品とADSL/CATVモデムまたは既存のネットワークを接続するためのポート（RJ-45）です。

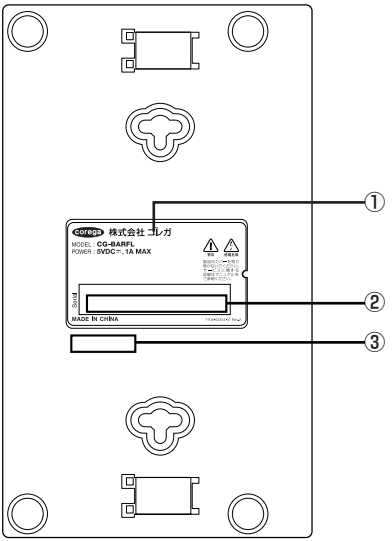
③ INIT スイッチ

本製品の再起動、または設定内容を工場出荷時の状態に戻す場合に使用します。操作方法については、「本製品を再起動する」(P.68)、または「本製品を工場出荷時の状態にもどす」(P.69) を参照してください。INITスイッチを使用して工場出荷時の状態に戻すと設定内容が失われますので操作方法をよくお読みになって使用してください。

④ DC ジャック

添付の専用ACアダプターを接続するためのコネクターです。

■本体底面



①警告ラベル

本製品を安全にご使用いただくための重要な情報が記載されておりますので、必ずお読みください。

②シリアル番号ラベル

本製品のシリアル番号とリビジョンが記載されています。
シリアル番号とリビジョンは、弊社サポートセンターへの問い合わせの際に必要となります。

③ MAC アドレスラベル

本製品の WAN 側ポートの MAC アドレスが記載されています。

パソコンのネットワーク設定をしよう

本製品を利用してインターネット接続ができるように、ご使用になるパソコンのネットワーク設定を行います。
次の内容を確認してください（確認と設定の方法は、OS の種類など、ご使用になるパソコンの環境により異なります）。

・ネットワークアダプタの設定
・TCP/IP の設定

メモ

複数のパソコンをインターネットに接続させる場合、すべてのパソコンでネットワーク設定を行う必要があります。

■ Windows XP で利用しよう

注意

この作業は「コンピュータの管理者」または同等の権限をもつユーザー名でログオンして行ってください。ユーザー権限については、OS の取扱説明書を参照してください。

●ネットワークアダプタの状態を確認する

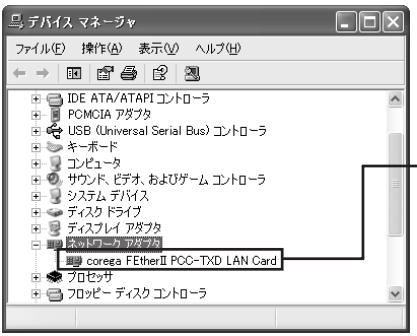
パソコンに取り付けられたネットワークアダプタが正常に動作しているか、デバイスマネージャなどで確かめます。

1 ［スタート］−「マイコンピュータ」を右クリックし、メニューの「プロパティ」をクリックします。

2 「ハードウェア」タブを表示して［デバイスマネージャ］をクリックします。

3 「デバイスマネージャ」画面の「ネットワークアダプタ」をダブルクリックします。

4　ネットワークアダプタの名称が表示されていることを確認します。



注意　**×や！マークが表示されている場合、ネットワークアダプタは正常に動作していません。ネットワークアダプタの取扱説明書をお読みになり、正常な状態にしてください。**

●TCP/IP プロトコルを確認する

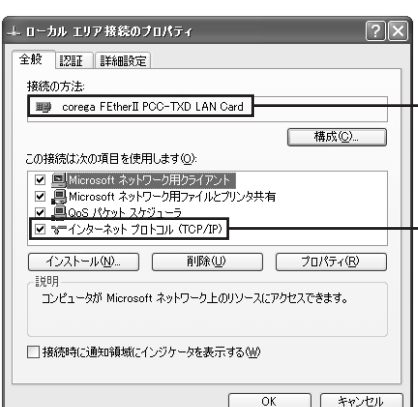
1　［スタート］−「コントロールパネル」をクリックします。

2　「コントロールパネル」にある「ネットワークとインターネット接続」をクリックします。
「ネットワークとインターネット接続」が表示されていない場合は、画面左側の「カテゴリの表示に切り替える」をクリックしてください。

3　「ネットワーク接続」アイコンをクリックします。

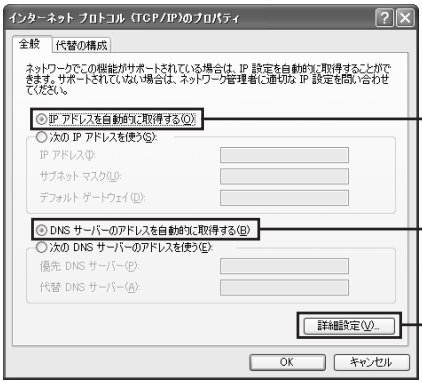
4　「ローカルエリア接続」を右クリックし、メニューから「プロパティ」を選択します。

5　「全般」タブで「インターネットプロトコル（TCP/IP）」が有効になっているか確認します。



6 「インターネットプロトコル(TCP/IP)」を選択し、[プロパティ]をクリックします。

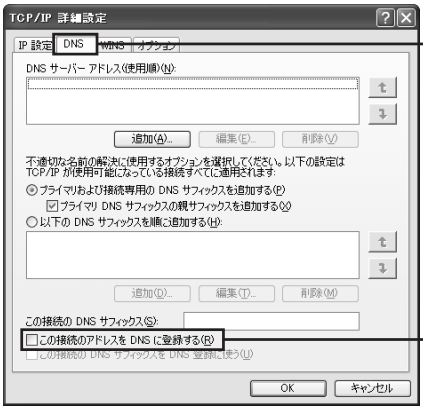
7 「全般」タブにある「IPアドレスを自動的に取得する」と「DNSサーバーのアドレスを自動的に取得する」を選択し、[詳細設定]をクリックします。



①この項目を選択します。

②［詳細設定］をクリックします。

8 「TCP/IP詳細設定」画面で「DNS」タブをクリックし、「この接続のアドレスをDNSに登録する」のチェックを外します。



①ここをクリックします。

②この項目のチェックマークを外します。

注意

プロバイダーからドメイン名も指定されている場合

「以下のDNSサフィックスを順に追加する」を選択し、[追加] をクリックして指定されたドメイン名を入力してください。

①この項目を選択します。

②[追加] をクリックして指定されたドメイン名を入力します。

※DNS 設定例

9 [OK]をクリックします。

10 「インターネットプロトコル(TCP/IP)のプロパティ」画面で、[OK]をクリックします。

11 「ローカルエリア接続のプロパティ」画面で、[OK]をクリックします。

12 再起動を促すメッセージが表示された場合は、再起動します。

メモ

メッセージが表示されなかった場合も、手動で再起動してください。

13 次に「Webブラウザーの設定をしよう」(P.29)に進みます。

■ Windows 2000 で利用しよう

注意 この作業は、「Administrator」または同等の権限を持つユーザー名でログインして行ってください。ユーザー権限については、OS の取扱説明書を参照してください。

●ネットワークアダプタの状態を確認する

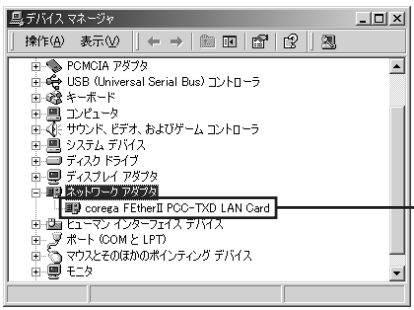
パソコンに取り付けられたネットワークアダプタが正常に動作しているか、デバイスマネージャなどで確かめます。

1 デスクトップにある「マイコンピュータ」を右クリックし、メニューの「プロパティ」をクリックします。

2 「ハードウェア」タブを選択し、[デバイスマネージャ]をクリックします。

3 一覧の「ネットワークアダプタ」をダブルクリックします。

4 ネットワークアダプタの名称が表示されていることを確かめます。



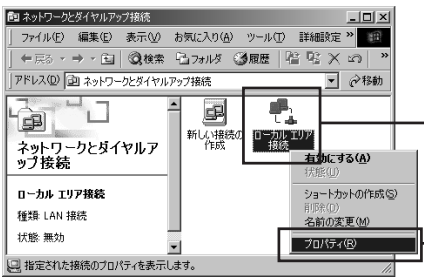
ネットワークアダプタ
※実際に表示される名称は、ご使用になっているネットワークアダプタのメーカー・機種によって異なります。

注意 ×や！マークが表示されている場合、ネットワークアダプタは正常に動作していません。ネットワークアダプタの取扱説明書をお読みになり、正常な状態にしてください。

● TCP/IP プロトコルを確認する

1 [スタート]－「設定」－「ネットワークとダイヤルアップ接続」をクリックします。

2 「ローカルエリア接続」アイコンを右クリックし、メニューの「プロパティ」をクリックします。

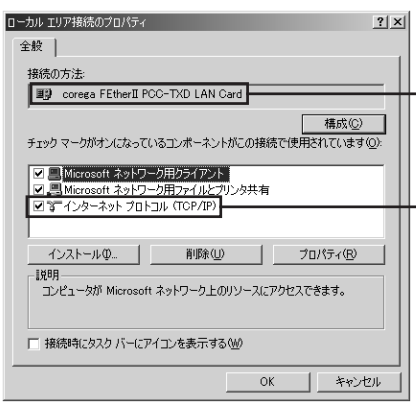


①「ローカルエリア接続」のアイコンを右クリックします。

②「プロパティ」をクリックします。

※「ローカルエリア接続」の名称はご使用のパソコンの環境により異なる場合があります。

3 「インターネットプロトコル(TCP/IP)」が有効になっていることを確認します。



※実際に表示される名称は、ご使用になっているネットワークアダプタのメーカー・機種によって異なります。

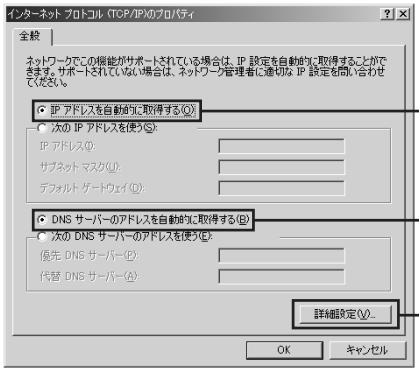
チェックマークが入っていることを確認してください。

メモ

「インターネットプロトコル（TCP/IP）」が一覧にない場合は、「TCP/IP をインストールする」（P.23）を参照してください。

4 「インターネットプロトコル(TCP/IP)」を選択し、[プロパティ]をクリックします。

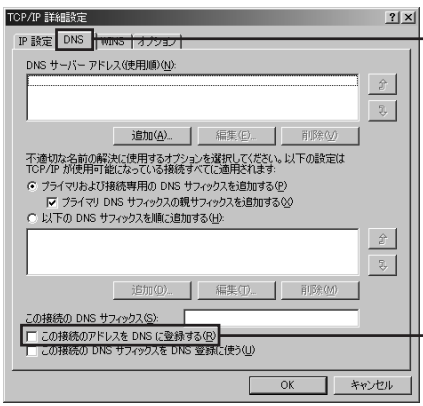
5 「IPアドレスを自動的に取得する」と「DNSサーバーのアドレスを自動的に取得する」を選択し、[詳細設定]をクリックします。



①この項目を選択します。

②［詳細設定］をクリックします。

6 「TCP/IP 詳細設定」画面で「DNS」タブを選択し、「この接続のアドレスをDNS に登録する」のチェックを外します。



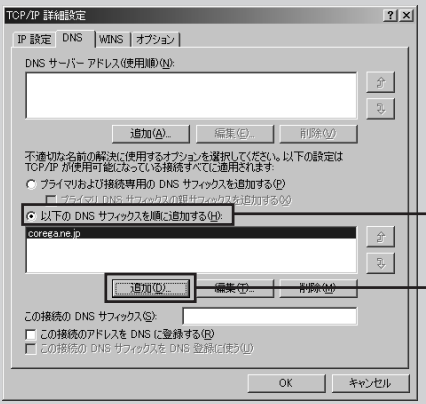
①ここをクリックします。

②この項目のチェックマークを外します。

注意

プロバイダーからドメイン名も指定されている場合

「以下のDNSサフィックスを順に追加する」を選択し、[追加] をクリックして指定されたドメイン名を入力してください。



①この項目を選択します。

②[追加] をクリックして指定されたドメイン名を入力してください。

7 [OK]をクリックします。

8 「インターネットプロトコル(TCP/IP)のプロパティ」画面で[OK]をクリックします。

9 「ローカルエリア接続のプロパティ」画面で[OK]をクリックします。

10 再起動を促すメッセージが表示された場合は再起動します。

メモ

メッセージが表示されなかった場合も、手動で再起動してください。

11 次に「Webブラウザーの設定をしよう」(P.29)に進みます。

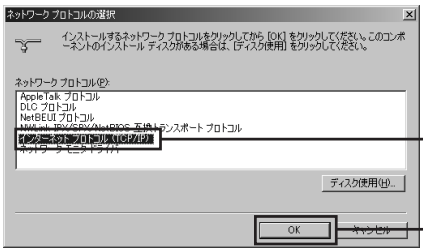
● TCP/IP をインストールする

TCP/IP がインストールされていなかった場合は、次の手順でインストールしてください。

1 「ローカルエリア接続のプロパティ」画面で［インストール］をクリックします。

2 「ネットワークコンポーネントの種類の選択」画面が表示されたら「プロトコル」を選択し、［追加］をクリックします。

3 「ネットワークプロトコルの選択」画面が表示されたら「インターネットプロトコル(TCP/IP)」を選択し、［OK］をクリックします。



①「インターネットプロトコル（TCP/IP）」を選択します。

②［OK］をクリックします。

4 「ローカルエリア接続のプロパティ」画面で「インターネットプロトコル(TCP/IP)」が有効になっていることを確認します。

インストールが完了したら、「TCP/IP プロトコルを確認する」（P.20）の手順を行ってください。

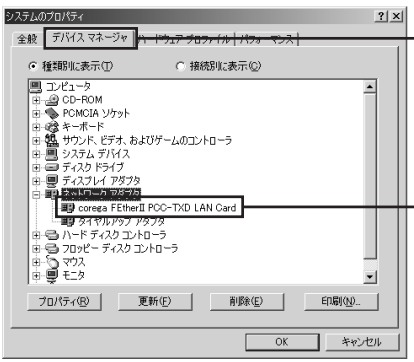
■ Windows Me/98/95 で利用しよう

●ネットワークアダプタの状態を確認する

パソコンに取り付けられたネットワークアダプタが正常に動作しているか、デバイスマネージャなどで確かめます。

1　デスクトップにある「マイコンピュータ」を右クリックし、メニューの「プロパティ」をクリックします。

2　「デバイスマネージャ」タブをクリックし、表示されたハードウェアデバイスの一覧から「ネットワークアダプタ」をダブルクリックします。
ネットワークアダプタの名称が表示されていることを確認します。



①ここをクリックします。

ネットワークアダプタ
※実際に表示される名称は、ご使用になっているネットワークアダプタのメーカー、機種によって異なります。

注意

- **×や！マークが表示されている場合、ネットワークアダプタは正常に動作していません。ネットワークアダプタの取扱説明書をお読みになり、正常な状態にしてください。**
- **「Microsoft仮想プライベートネットワークアダプタ」「ダイヤルアップアダプタ」などのアダプタ名が表示されていることがありますが、これらは本製品で使用するネットワークアダプタと関係ありません。**

● TCP/IP プロトコルを確認する

ここでは例として Windows Me を使用しています。Windows 98/95 をご使用の場合も手順は同様です。

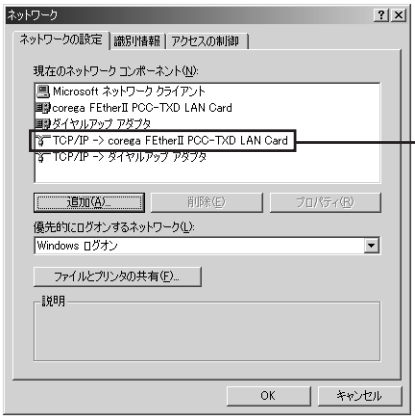
1　［スタート］−「設定」−「コントロールパネル」をクリックします。

メモ

Windows Meの場合、よく使うコントロールパネルのオプションだけが表示されているときは、「すべてのコントロールパネルのオプションを表示する。」をクリックすると、「ネットワーク」アイコンが表示されます。

2　「コントロールパネル」にある「ネットワーク」アイコンをダブルクリックします。

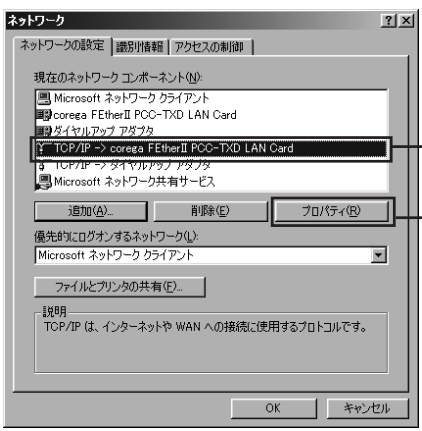
3 「ネットワークの設定」タブ内で「現在のネットワークコンポーネント」の欄に「TCP/IP －> XXXXX（ネットワークアダプタ名）」が表示されていることを確認します。



※画面は例です。
・「TCP/IP －>」の横に表示される名称は、ご使用になっているネットワークアダプタのメーカー、機種によって異なります。
・ダイヤルアップアダプタがない場合は「インターネットプロトコル（TCP/IP）」、「TCP/IP」などと表示される場合もあります。

メモ 「TCP/IP －> XXXXX（ネットワークアダプタ名）」が表示されていなかった場合は、「TCP/IP をインストールする」（P.27）を参照してください。

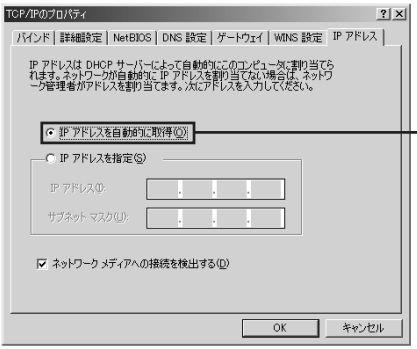
4 「現在のネットワークコンポーネント」の一覧から「TCP/IP －>XXXXX（ネットワークアダプタ名）」を選択し、［プロパティ］をクリックします。



①ご使用のネットワークアダプタ名が表示されているものを選択します。
②［プロパティ］をクリックします。

メモ 「TCP/IP －> XXXXX（ネットワークアダプタ名）」が複数表示されている場合は、ご使用になるネットワークアダプタの方を選択します。

5 「IPアドレス」タブで「IPアドレスを自動的に取得」を選択します。

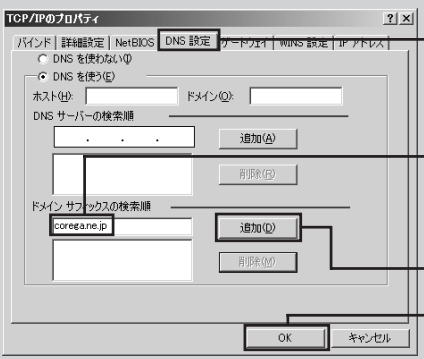


①この項目を選択します。

注意

プロバイダーからドメイン名も指定されている場合

「DNS 設定」タブで「DNS を使う」を選択し、「ドメインサフィックスの検索順」の欄に指定されたドメイン名を入力して［追加］をクリックしてください。



①［DNS 設定］タブをクリックします。

②ドメイン名を入力します。
画面は例です。実際にはプロバイダーから指定されたドメイン名を入力してください。

③［追加］をクリックします。

④［OK］をクリックします。

※ DNS 設定例

6 ［OK］をクリックします。

7 「ネットワーク」画面の、［OK］をクリックします。

メモ

WindowsのOS用ディスクを入れるようにダイアログが表示された場合はドライブにWindows の OS 用ディスクを挿入し、メッセージにしたがって操作します。再起動を促すメッセージが表示されたら再起動します。

8 次に「Webブラウザーの設定をしよう」(P.29)に進みます。

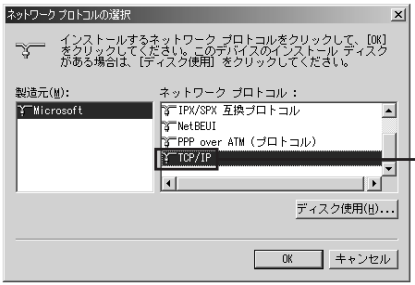
● TCP/IP をインストールする

TCP/IP がインストールされていなかった場合は、次の手順でインストールしてください。

1 「ネットワーク」の画面で、[追加]をクリックします。

2 「ネットワークコンポーネントの種類の選択」画面で「プロトコル」を選択し、[追加]をクリックします。

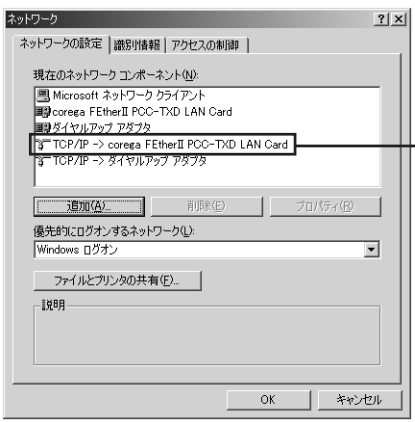
3 「ネットワークプロトコルの選択」画面の「製造元」で「Microsoft」を選択し、「ネットワークプロトコル」の一覧から「TCP/IP」を選択します。



「TCP/IP」を選択します。

4 [OK]をクリックします。

5 「現在のネットワークコンポーネント」の一覧に「TCP/IP ー>XXXXX(ネットワークアダプタ名)」が追加されていることを確かめます。



※画面は例です。
- 「TCP/IP ー>」の横に表示される名称は、ご使用になっているネットワークアダプタのメーカー、機種によって異なります。
- ダイヤルアップアダプタがない場合は「インターネットプロトコル(TCP/IP)」、「TCP/IP」などと表示される場合もあります。

6 [OK]をクリックして「ネットワーク」画面を閉じると、再起動を促すメッセージが表示されますので、再起動します。

メモ

メッセージが表示されなかった場合も、手動で再起動してください。

インストールが完了したら、「TCP/IP プロトコルを確認する」（P.24）の手順を行ってください。

Web ブラウザーの設定をしよう

本製品を利用できるように、Web ブラウザーの設定を行います。ここでは、Internet Explorerの場合の設定方法を例に説明しています。その他のWeb ブラウザーの場合は、Web ブラウザーのヘルプなどを参照してください。

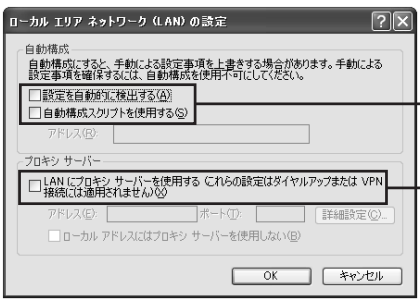
ここでは、Internet Explorer 6.0 の場合の設定方法を説明しています。

1 Internet Explorerを起動し、「ツール」−「インターネットオプション」をクリックします。

2 「インターネットオプション」画面が表示されたら「接続」タブをクリックします。

3 [LANの設定]をクリックします。

4 「ローカルエリアネットワーク(LAN)の設定」画面で「設定を自動的に検出する」「自動構成スクリプトを使用する」「LANにプロキシサーバーを使用する」のチェックマークを外します。



この項目のチェックマークを外します。

5 [OK]をクリックします。

6 「インターネットオプション」画面で[OK]をクリックします。

7 次に「パソコンと本製品を接続しよう」(P.30)に進みます。

パソコンと本製品を接続しよう

■本製品を設置する場所について

本書冒頭の「安全にお使いいただくために必ずお読みください」をお読みになり、使用時の注意についてご確認ください。本製品の側面にある通気口は、放熱のため塞がないでください。本製品を安定させて設置する場所が見つからない場合は、付属の縦置きスタンドを本製品の側面に取り付けることで、本製品を立てて設置できます。

●設置に適した場所

・水平で落下の恐れがない場所（机の上など）
・風通しのよい涼しい場所

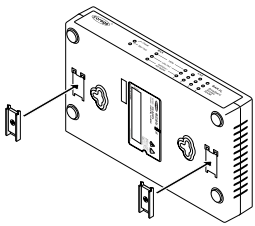
●設置に適さない場所

・直射日光が当たる場所
・暖房器具の近くなど
・高温多湿でホコリの多い場所
・パソコンやモデムなど、発熱する機器の上

■マグネットの取り付け方

本製品に付属のマグネットを使用して、本製品をOAデスクの横などの垂直な場所に設置できます。

マグネット取り付け位置の前側にあるツメとマグネットのツメの方向を合わせ、マグネットをツメの反対側から本体に差し込み、強く押しつけます。



注意

- **設置面の状態によってマグネットの十分な強度を得られないことがあります。**
- **取り付けの際は機器およびケーブルの重みにより機器が落下しないように確実に取り付け・設置してください。ケガ・故障の原因になることがあります。**
- **機器をマグネットで高所に取り付けないでください。落下によるケガ・機器破損の恐れがあります。**
- **振動・衝撃の多い場所や不安定な場所に設置しないでください。落下によるケガ・故障の原因になることがあります。**
- **OAデスクなどにマグネット機器を取り付けたまま、機器をずらさないでください。被着面の塗装などに傷が付く恐れがあります。**
- **マグネットにフロッピーディスクや磁気カードなどを近づけないでください。磁気の影響により記録内容が消去される恐れがあります。**
- **機器をマグネットでパソコンおよびディスプレイなどの電子機器に取り付けないでください。**

■本製品の電源を入れるには

●本製品の電源の取り方

本製品の電源は、たこ足配線などを避け、他の機器と別系統で取るようにしてください。必ず付属の専用ACアダプターを使用し、AC100Vの電源コンセントに接続してください。それ以外のACアダプターやコンセントを使用すると、発熱による発火や感電の恐れがあります。

●本製品の電源の入れ方／切り方

本製品背面のDCジャックにACアダプターのDCプラグを接続し、電源プラグを電源コンセントに差し込むと電源が入ります。ACアダプターの電源プラグを電源コンセントから抜くと電源が切れます。

注意

- **本製品には電源スイッチがありません。電源プラグを電源コンセントに接続した時点で、電源が入りますのでご注意ください。**
- **ACアダプターの電源プラグを電源コンセントに差し込んだままDCプラグを抜かないでください。感電事故を引き起こす恐れがあります。**

■パソコン、モデムと本製品を接続する

本製品とモデム、パソコンなどネットワーク接続する機器はLANケーブルで接続してください。

●推奨ケーブルについて

すべてのケーブルが機器間を接続するのに適切な長さであることを確認します。本製品とパソコンを接続するLANケーブルの長さは100m以内にしてください。また、ケーブルは、カテゴリー5のLANケーブル（ストレートタイプ）を使用してください。

1 本製品、モデムまたは回線終端装置、パソコンなどネットワーク接続する機器の電源をすべて切るか、電源コンセントから抜いてください。

2 本製品背面のLANポートにLANケーブルを接続します。

3 LANケーブルのもう一方をパソコンのLANポートに接続します。

4 本製品背面のWAN ポートに付属のLANケーブルを接続します。

5 モデムまたは回線終端装置のネットワークポート(RJ-45)にLANケーブルのもう一方を接続します。

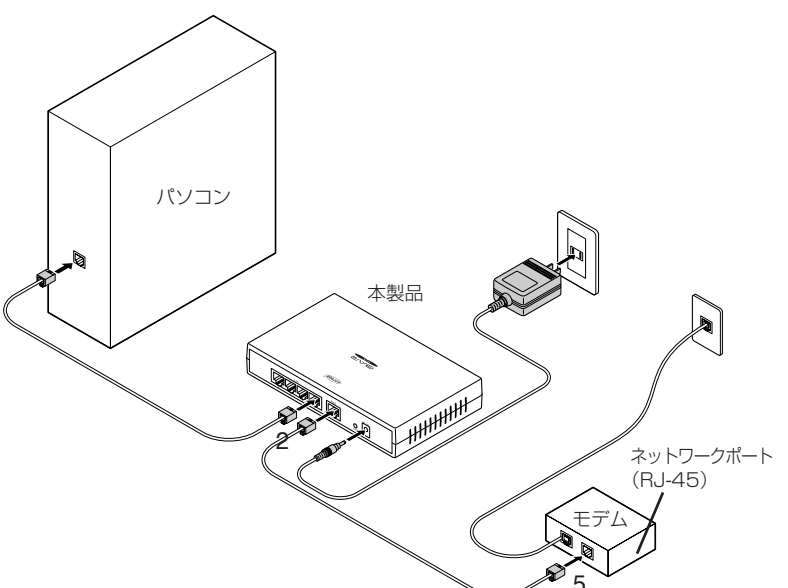
6 モデムまたは回線終端装置の電源を入れます。

7 本製品背面のDCジャックに専用ACアダプターを接続します。

8 本製品の専用ACアダプターをコンセントに接続し、本製品の電源を入れます。
本製品前面のPower LEDが点灯し、Self Test LEDが点灯した後、消灯します。

9 パソコンの電源を入れます。

10 本製品前面の、ケーブルを接続したポートのLink/Act LEDが点灯していることを確認します。



本製品の設定をしよう

パソコンから本製品を使ってインターネットに接続できるように本製品の設定を行います。本製品の設定はWebブラウザーで行います。本製品に接続されているパソコンのうち、1台から設定作業を行ってください。Webブラウザーには Internet Explorer 5.5 以降をご利用ください。これ以外の Web ブラウザーでは、正常にセットアップが行えない場合があります。
推奨ブラウザーについては、P.11 を参照してください。

■簡単に接続しよう

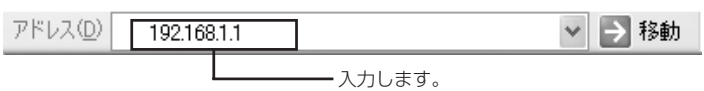
インターネットに接続できるように最小限の設定をします。インターネットへの接続方式はご契約されたプロバイダーによって異なります。P.10のチェック3でメモした情報を準備してください。

注意

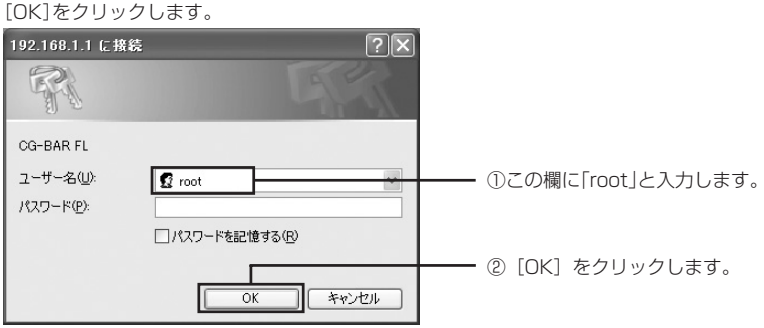
設定用パソコンでウイルス駆除ソフト、ファイアーウォールソフトなどのセキュリティーソフトが稼働していると、本製品の設定に失敗することがあります。一時的にセキュリティーソフトを停止させて本製品の設定を行い、設定作業が終了してから再度稼働させてください。セキュリティーソフトの停止、稼働の方法は、セキュリティーソフトの取扱説明書を参照してください。

1 本製品に接続したパソコンで、Internet ExplorerなどのWebブラウザーを起動します。

2 Webブラウザーのアドレス入力欄に「192.168.1.1」と入力し、キーボードの「Enter」キーを押します。



3 ユーザー名とパスワードを入力する画面が表示されたら、ユーザー名の欄に「root」と入力し、[OK]をクリックします。



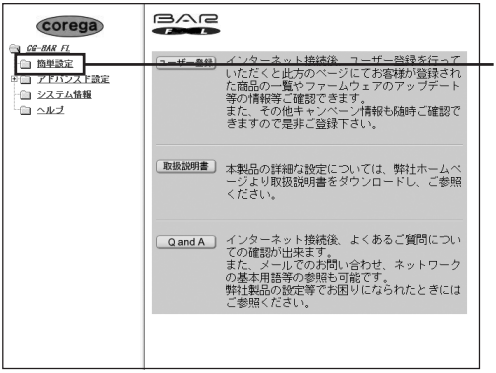
※上の画面はWindows XPのものですが、他のOSでも手順は同じです。

メモ

- **工場出荷時の状態では、ユーザー名は「root」に設定されています。パスワードは設定されていません。**
- **ユーザー名、パスワードは変更できます。(P.65)**

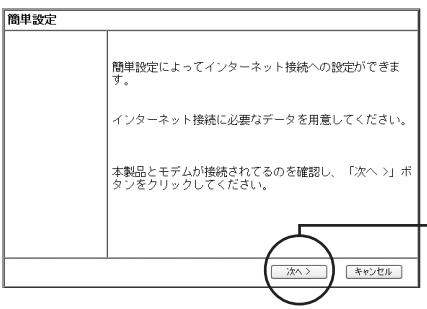
4　設定ユーティリティーが起動します。

5　設定ユーティリティーの左側にある[簡単設定]をクリックします。



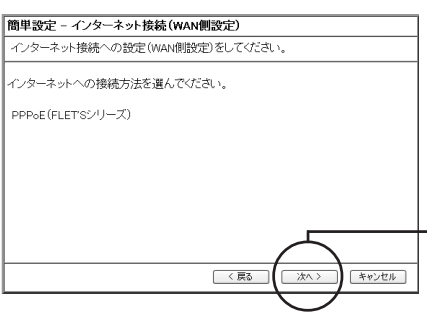
[簡単設定] をクリックします。

6　「簡単設定」が表示されたら、[次へ]をクリックします。



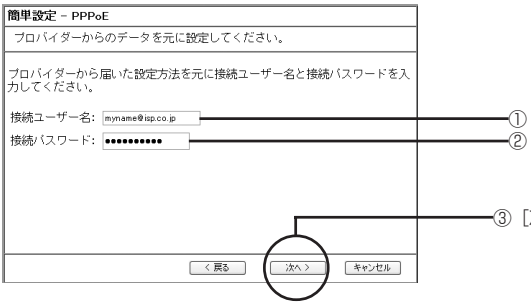
[次へ] をクリックします。

7　「セットアップウィザード-インターネット接続(WAN側設定)」が表示されたら、[次へ]をクリックします。



[次へ] をクリックします。

8 この画面は、下の表の入力例を使用した場合の例です。実際にはご使用の環境に合った値を設定してください。

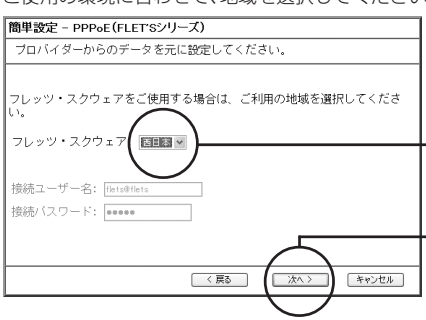


項目名	入力例	説明
①接続ユーザー名	myname@isp.ne.jp	プロバイダーより指定された接続ユーザー名※を入力します。
②接続パスワード	Password02	プロバイダーより指定された接続パスワード※を入力します。画面上では「●」または「＊」で表示されます。 ※ 入力可能な文字は、半角の英数字、記号で 25 文字までです。 ※「 " 」および「 ' 」以降に入力した文字は、保存されません。

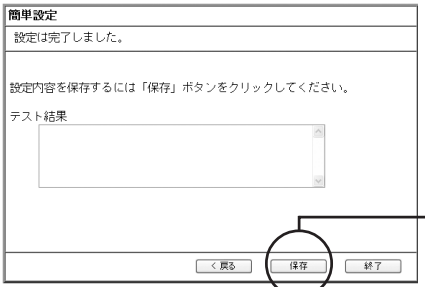
※ プロバイダーによって呼び方が異なる場合があります。

設定が終わったら、[次へ]をクリックします。

9 ご使用の環境に合わせて、地域を選択してください。



10 次の画面が表示されたら、[保存]をクリックします。

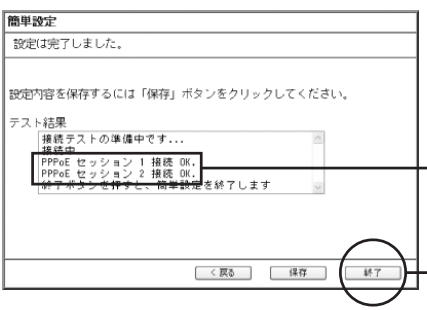


① [保存] をクリックします。

11 次のダイアログボックスが表示されたら[OK]をクリックします。

[OK] をクリックします。

12 しばらくすると、テスト結果が表示されるので確認して[終了]をクリックします。
パソコン、モデムと本製品の設定、接続に問題がなければ、テスト結果の欄に「接続 OK」と表示されます。

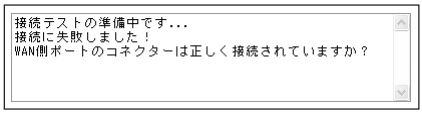


①ここを確認します。問題がなければ、このように表示されます。

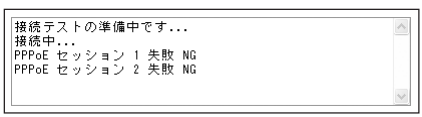
②[終了] をクリックします。

●テストに失敗したときは

テスト終了後、次のような画面が表示されたときは、メッセージの内容を確認して、再度、ウィザードをやり直してください。



この画面が表示されたときは、WANポートのLANケーブルが正しく接続されていない可能性があります。接続を確認してください。



この画面が表示されたときは 、次のような原因が考えられます。

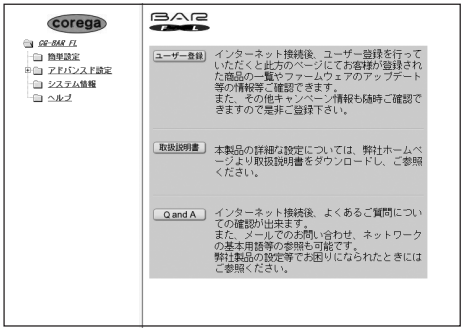
・ユーザー名かパスワードの入力を間違えている
　プロバイダーからの契約書類などを確認して、正しく入力してください。

・モデムと回線とが正しく接続されていない。
　モデムとスプリッタ、スプリッタとモジュラコンセントなどが正しく接続されているか、確認してください。

メモ

テストに失敗した場合は、P.35 の手順 8 に戻り、再度入力を行ってください。

13 操作4の画面に戻ったら画面右上の「×」をクリックして設定ユーティリティーを終了します。



注意

・ その他の設定項目については、「STEP3 設定ユーティリティーを見てみよう」（P.40）をご覧ください。本製品のより高度な使用方法については、「STEP4 こんなときにはこの設定」（P.92）をご覧ください。

インターネットに接続してみよう

パソコンと設定ユーティリティーの設定が終わったら、インターネットに接続できるか確認します。

1 本製品に接続したパソコンで、Internet ExplorerなどのWebブラウザーを起動します。

2 Webブラウザーのアドレス入力欄に当社のホームページアドレス「http://www.corega.co.jp/」を入力し、キーボードの「Enter」キーを押します。

3 ホームページが表示されます。

> **注意** **ご契約のプロバイダーによっては、設定後、インターネットに接続できるようになるまでに、時間がかかる場合があります。詳しくは、ご契約のプロバイダーにお問い合せください。**

もし、インターネットにつながらなかった場合は、「STEP5 トラブルや疑問があったら」(P.60)をご覧ください。

■他のパソコンを接続する場合

本製品に接続したいパソコンが他にもある場合は、「パソコンのネットワーク設定をしよう」(P.15)、「Web ブラウザーの設定をしよう」(P.29)、「パソコン、モデムと本製品を接続する」(P.32) を参照し、同じ手順でパソコンの設定を行い、本製品のLAN 側ポートとパソコンをLAN ケーブルで接続してください。

STEP3　設定ユーティリティーを見てみよう

本製品を使っていて「高度な機能を使いこなしたい」「設定ユーティリティーの詳しい情報が知りたい」と思ったときは、このSTEPで項目を探してください。

設定ユーティリティーの使い方

■設定ユーティリティーの全体構成について

- Home…各種設定項目を表示する(P.42)
- 簡単設定…インターネットに接続する(P.42)
- アドバンスド設定
  - システム設定･･･システム設定を変更する（P.43）
  - LAN側の設定･･･パソコン（LAN）側の設定をする（P.44）
  - WAN側の設定･･･インターネット（WAN）側の設定をする（P.45）
  - DMZ設定･･･DMZ機能の設定をする（P.47）
  - バーチャルサーバー･･･インターネットにサーバーを公開する（P.48）
  - セキュリティ設定･･･外部からの不正なアクセスを防ぐ（P.49）
    - ▶ステートフルインスペクション
    - ▶パケット・フィルタリング
  - DHCP設定･･･DHCP機能でIPアドレスを割り当てる（P.51）
    - ▶固定IP設定
    - ▶除外IP設定
  - ログ表示･･･ログ情報を表示する（P.52）
    - ▶アクセスログ
    - ▶Dosアタックログ
    - ▶インターネット接続ログ
  - UPnP設定･･･UPnPサーバーを使用する（P.51）
    - ▶UPnPポート設定情報
- IPv6設定…IPv6ブリッジの設定をする（P.53）
- システム情報…現在の設定状況を表示する（P.53）
- ヘルプ…各設定のヘルプを表示する（P.54）

■設定画面の各機能

メモ

- 以降の説明では、表の入力例を使用した場合の画面例を掲載しています。実際にはご使用の環境に合った値を入力してください。
- 各設定画面には、［ヘルプ］があります。設定内容について詳しくは、ヘルプを参照してください。

以下の機能については、それぞれの設定ユーティリティーの各画面にて説明しています。該当ページをご覧ください。

ルーター機能

UPnP 52
DMZ 47

WAN 側機能

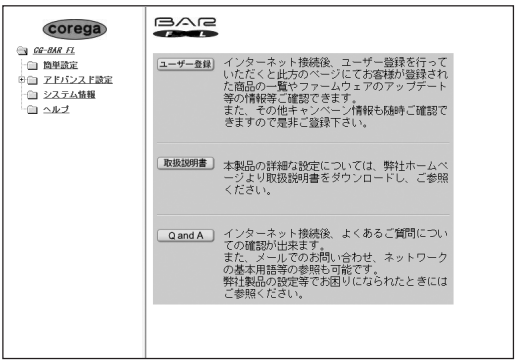
マルチ PPPoE 45
無通信時間監視 46

その他の機能

パスワードの変更 43
情報表示（装置情報、状態表示） ..... 43、53
ログ機能 52
ファームウェア更新 43

●Home　～各種設定項目を表示する～

設定ユーティリティー起動時の画面です。本製品の機能が表示されます。また、設定ユーティリティーを終了するときは、「ファイル」―「閉じる」をクリックして終了してください。



●簡単設定　～インターネットに接続する～

「WAN 側 IP(自動取得)」と「WAN 側 IP(固定)」の簡単な設定を行います。詳細な設定を行う場合は、「アドバンスド設定」の「WAN 側の設定」（P.45）を参照してください。
設定方法は「PART2　ネットワークに設定しよう」「簡単に接続しよう」（P.33）を参照してください。

●アドバンスド設定　～より高度な機能を設定する～

ネットワークアプリケーションを利用する際のポート設定やセキュリティの設定、バーチャルサーバーの設定など、本製品のより高度な機能の設定ができます。

●システム設定　～システム設定を変更する～

本製品のログイン名やパスワードといった基本的な設定を変更することができます。また、工場出荷時の設定に戻したり、本製品の再起動などを行うことができます。
変更する場合は変更する項目に入力して「更新」ボタンをクリックしてください。

注意　**パスワードを忘れると、設定ユーティリティーで設定を変更できなくなりますので、ご注意ください。**

項目名	説明
① 管理者ログイン名	現在のログイン名が表示されます。ログイン名を変更することもできます。 ※工場出荷時の設定では「root」。
② 管理者ログイン・パスワード	現在のパスワードが表示されます（●または＊で表示されます）。パスワードを変更することもできます。詳しくは、「本製品のユーザー名、パスワードを変更したい」（P.65）をご覧ください。 ※工場出荷時の設定では未設定です。
③ パスワードの確認	パスワードを変更するとき、確認のため「管理者ログイン・パスワード」で入力したパスワードを再入力します。
④ IP マスカレード・テーブル保持時間	10～300の間の数値を入力し、IP マスカレード・テーブルの保持時間を設定します。 ※工場出荷時の設定では「10」分。
⑤ URL ホーム	ブラウザーのURLに入力するだけで設定ユーティリティにログインすることができます。必ず「.」を含めて半角で３～24 文字以内で設定してください。（「.」は先頭と末尾に使用することはできません） ※工場出荷時の設定は「corega.home」。
⑥ ステルスモード	外部アクセスからルーターの存在をわかりにくくし、セキュリティーを高めることができます。 ※工場出荷時の設定は「無効」。
⑦ ダイレクトPPPoE	「有効」にするとルーター経由の配線で、パソコンから直接フレッツ接続ツールなどを使用して PPPoE 接続をすることができます。
⑧工場出荷時の状態へ戻す	「実行」ボタンをクリックすると本製品の設定内容を工場出荷時の状態に戻すことができます。詳しくは「STEP3 トラブルや疑問があったら」「本製品を工場出荷時の状態にもどす」(P.69)を参照してください。
⑨ システム・リブート	「実行」ボタンをクリックすると本製品のシステムを再起動することができます。詳しくは「STEP3 トラブルや疑問があったら」「本製品を再起動する」(P.68)を参照してください。
⑩ 設定保存	本製品の設定内容を保存することができます。「保存」ボタンをクリックし、ブラウザーの「ファイルのダウンロード」が表示されますので「保存」を選択し、設定内容を保存してください。
⑪ 設定読込	保存済の設定内容を読み込みます。設定内容の保存先を指定して、「読込」ボタンをクリックしてください。
⑫ ファームウェア更新	クリックすると本製品のファームウェアを最新のバージョンにアップデートすることができます。詳しくは「STEP3 トラブルや疑問があったら」「最新のファームウェアを入手してアップデートする」（P.43）を参照してください。

●LAN側の設定　～パソコン(LAN)側の設定をする～

1　本製品のローカル(LAN)側の設定を表示します。

項目名	説明
①MACアドレス	本製品のLAN側のMACアドレスが表示されます。
②LAN側IPアドレス	LAN側のIPアドレスを入力します。 ※工場出荷時の設定は「192.168.1.1」。
③サブネットマスク	LAN側にサブネットマスクを入力します。 ※工場出荷時の設定は「255.255.255.0」。

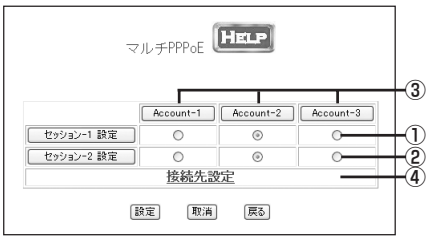
2　上記項目を設定後「設定」ボタンをクリックすると設定が反映されます。

● WAN 側の設定　～インターネット（WAN）側の設定をする～

WAN 側の設定を変更することができます。
設定を変更する場合は項目を入力し、「設定」ボタンをクリックしてください。

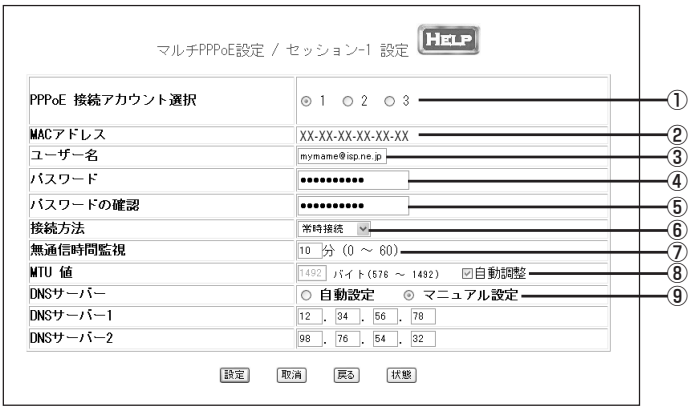
1　「アドバンス設定」画面で「マルチPPPoE」をクリックします。

2　設定する項目をクリックし、入力します。



項目名	説明
①セッション１－設定	セッション-1 の情報を設定します。
②セッション２－設定	セッション-2 の情報を設定します。
③アカウント１～３	「Account-1」～「Account-3」のいずれかをクリックすると「アカウント設定」画面が表示され、名称を変更できます。
④接続先設定	セッション-2 を使用する条件を設定します。

・セッション-1 設定、セッション-2 設定

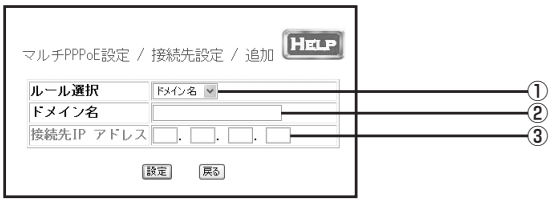


項目名	入力例	説　明
①PPPoE 接続アカウント選択	－	3つのうちいずれかを選択してください。
②MAC アドレス	－	本製品の WAN 側の MAC アドレスが表示されます。
③ユーザー名	myname@isp.ne.jp	プロバイダーより指定された接続ユーザー名を入力します。
④パスワード	Password02	プロバイダーより指定された接続パスワードを入力します。画面上では「●」または、「*」で表示されます。
⑤パスワードの確認	Password02	④で入力したパスワードと同じ値を入力してください。
⑥接続方法	常時接続	メニューから接続方法を選択します。 ・ 常時接続：常に接続します。 ・ トリガー接続:インターネットへ接続するたびにPPPoE接続します。 ・ 手動接続:手動で接続しない限りPPPoE接続を行いません。「状態」－「接続」を クリックしてください。
⑦無通信監視時間	10	PPPoE 接続で無通信になってから自動的に PPPoE 接続を切断するまでの時間を設定します。0～99分のあいだで指定してください。 ※0分を設定すると自動では切断しません。
⑧MTU 値		MTU 値を変更することができます。 ※指定可能値は 576～1492 です。
⑨DNS サーバー		プロバイダーから DNS サーバーを指定された場合は「マニュアル設定」を選択し、指定された IP アドレスを入力します。

2　上記項目を設定後、[設定]ボタンをクリックすると設定が反映されます。

・接続先設定

1　[追加]ボタンをクリックし各項目に入力します。接続先は10件まで設定できます。



項目名	説明
①ルール選択	ドメイン名：設定したドメイン名への通信はセッション 2 を利用します。IP アドレス：設定したIP アドレスへの通信はセッション 2 を利用します。
②ドメイン名	接続先のドメイン名を入力してください。ルール選択がドメイン名の場合に設定します。
③接続先IPアドレス	接続先のIPアドレスを入力してください。ルール選択がIPアドレスの場合に設定します。

2　上記項目を設定後、[設定]ボタンをクリックすると設定が反映されます。

●DMZ設定　～DMZ機能を使ってIPアドレスを設定する～

設定する場合は「DMZ ホスト」を入力し、「設定」ボタンをクリックします。

項目名	説明
①DMZ ホスト	ネットゲームやRealPlayerなどインターネットを使用して全てのTCP/IPサービスを有効とする場合、IPアドレスを入力します。 ※ DMZを指定したパソコンは、本製品のセキュリティー機能が無効になるため、セキュリティーが弱くなります。DMZ機能は必要な場合のみ設定してください。 ※ DMZを使用しなくなったときは、「0」を入力してください。設定を元に戻すことができます。

●バーチャルサーバー　～インターネット上にサーバーを公開する～

バーチャルサーバーを利用してインターネット上にサーバーを公開することができます。
設定内容をリストで表示します。

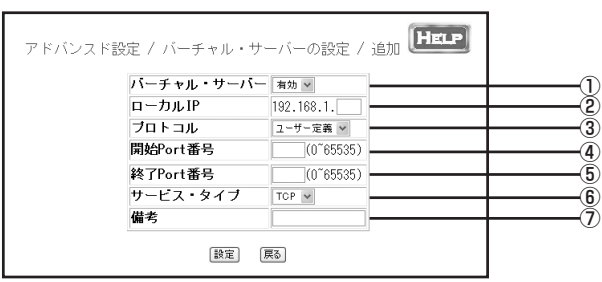
1　メニューから「アドバンスド設定」−「バーチャルサーバー」をクリックします。

2　「有効」を選択して［設定］ボタンをクリックします。

メモ　**「UPnP ポート設定情報」をクリックすると登録情報を確認することができます。詳しくは「UPnP 設定」（P.51）を参照してください。**

・バーチャルサーバーの追加

「バーチャルサーバー」の画面の「追加」ボタンをクリックすると「バーチャルサーバー」の設定ができます。バーチャルサーバーは 10 件まで設定できます。

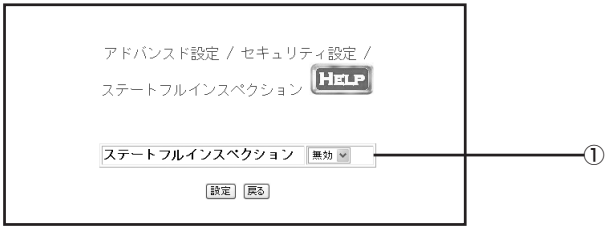


項目名	説明
①バーチャル・サーバー	バーチャル・サーバーの「有効」または「無効」を選択します。
②ローカル IP	LAN 側のサーバー・コンピューターの IP アドレスを入力します。
③プロトコル	リストの中から対象となるプロトコルを選択してください。リストにない場合は「ユーザー定義」を選択し、④⑤でポートの設定をしてください。
④開始 Port 番号	「プロトコル」で「ユーザー定義」を選択した場合のみ入力してください。
⑤終了 Port 番号	
⑥サービス・タイプ	バーチャルサーバーの対象となる IP タイプをリストから選択します。
⑦備考	入力した設定のメモを入力できます。

上記項目を設定後、[設定]ボタンをクリックし、「システム・リブート」（P.68）すると設定が反映されます。

●セキュリティ設定　～外部からの不正なアクセスを防ぐ～

・ステートフルインスペクション

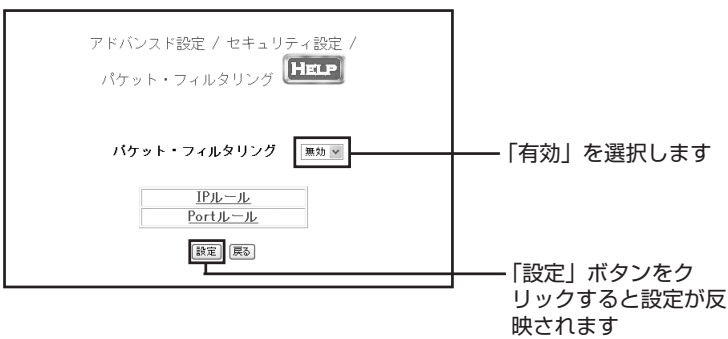


項目名	説明
①ステートフルインスペクション	ステートフルインスペクションの有効/無効を選択します。

上記項目を設定後、[設定]ボタンをクリックすると設定が反映されます。

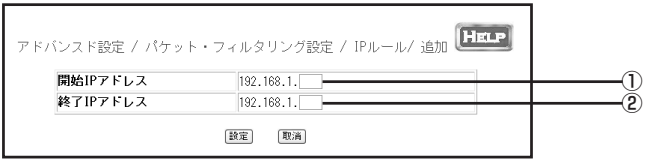
・パケット・フィルタリング

「有効」を選択し、「設定」ボタンをクリックすると入力した「IPアドレス」と「ポート番号」によるパケット・フィルタリングを機能させることができます。



＜IP ルール＞

1　追加する場合は「IPルール」「追加」ボタンをクリックします。IPルールは15件まで設定できます。

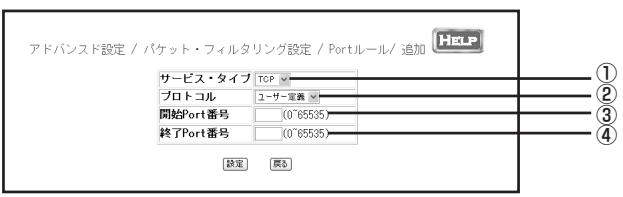


項目名	説明
①開始 IP アドレス	フィルターを適用する開始 IP アドレスを指定します。
②終了 IP アドレス	フィルターを適用する終了 IP アドレスを指定します。

2　上記項目を設定後、[設定]ボタンをクリックすると設定が反映されます。

＜Port ルール＞

1　追加する場合は「Portルール」「追加」ボタンをクリックします。Portルールは15件まで設定できます。



項目名	説明
①サービス・タイプ	フィルタリングの対象となる IP タイプを指定します。
②プロトコル	フィルタリングの対象となる FTP、HTTP 等のプロトコルをリストの中から選択してください。
③開始 Port 番号	「プロトコル」で「ユーザー定義」を選択した場合のみ、入力してください。
④終了 Port 番号	

2　上記項目を設定後、[設定]ボタンをクリックすると設定が反映されます。

● DHCP 設定　～ DHCP 機能で IP アドレスを割り当てる～

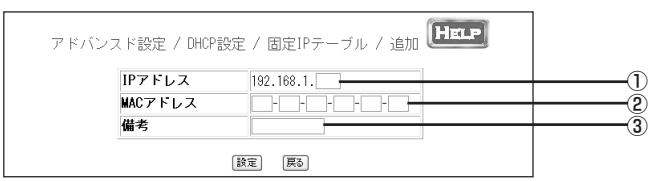
項目名	説明
① DHCP	「有効」を選択すると DHCP 機能を使うことができます。
②開始アドレス	DHCP サーバーのリース開始 IP アドレスを入力します。
③終了アドレス	DHCP サーバーのリース終了 IP アドレスを入力します。

上記項目を設定後、[設定]ボタンをクリックすると設定が反映されます。

3

・固定 IP テーブル

1　「追加」ボタンをクリックします。固定IPテーブルは10件まで設定できます。



項目名	説明
① IP アドレス	固定するクライアントの IP アドレスを入力します。DHCP 設定した IP アドレスの範囲内で設定してください。
② MAC アドレス	指定した IP アドレスを使うクライアントの MAC アドレスを入力します。
③備考	入力した設定のメモを入力できます。

2　上記項目を設定後、[設定]ボタンをクリックし、「システム･リブート」(P.68)すると設定が反映されます。

・除外 IP テーブル

1　「追加」ボタンをクリックします。除外IPテーブルは10件まで設定できます。

項目名	説明
①IP アドレス	DHCP の割当から除外する IP アドレスを入力します
②備考	入力した設定のメモを入力できます。

2　上記項目を設定後、[設定]ボタンをクリックし、「システム・リブート」(P.68)すると設定が反映されます。

●ログ表示　～ログ情報を表示する～

・アクセスログ

本製品のアクセスログを参照することができます。

・Dos アタックログ

本製品の Dos アタックログを参照することができます。

・インターネット接続ログ

本製品のインターネット接続ログを参照することができます。

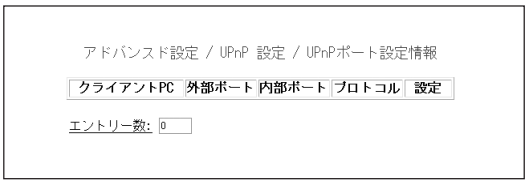
注意
・ログ情報はセキュリティーのため公開しておりません。
・ログ情報は「システム・リブート」（P.68）を行うと消去されます。

● UPnP 設定　～ UPnP サーバーを設定する～

「有効」を選択し、「設定」ボタンをクリックすると UPnP の機能を使うことができます。

・UPnP ポート設定情報

UPnP サーバーの設定が登録情報が表示されます。



● IPv6 ブリッジ設定　～ IPv6 を使う～

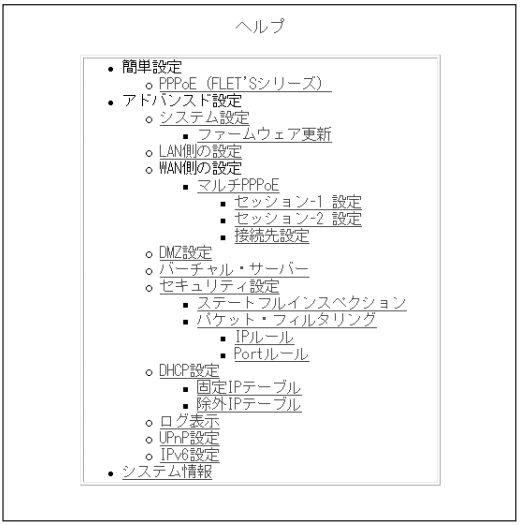
「有効」を選択し、「設定」ボタンをクリックすると IPv6 ブリッジが有効になります。

●システム情報　～現在の設定状態を表示する～

現在の本製品の設定状態を表示します。

●ヘルプ　～各設定のヘルプを表示する

表示された項目をクリックすると選択した項目のヘルプ画面が表示されます。
各項目の「ヘルプ」ボタンをクリックしても同じ画面が開きます。



STEP4 こんなときにはこの設定

ネットワークゲームや音声／ビデオチャットなど、ネットワーク上から各パソコンに直接アクセスする必要がある場合は、本製品の設定を変更する必要があります。このSTEPでは、本製品をより便利に活用していただくための設定方法について説明します。

ネットワークゲームをするには

注意 **回線業者によっては、ネットワークゲームに対応していない場合がありますので、ご注意ください。**

ゲームサーバーとデータの送受信を行うポートを本製品に設定する必要があります。

● UPnP に対応したネットワークゲームの場合

本製品はUPnPに対応しているので、UPnPに対応したネットワークゲームであれば、自動的に本製品の設定が行われます。
設定ユーティリティーで次の設定を行います。

1 「アドバンスド設定」で、「UPnP設定」の「UPnP」を「有効」にします。
詳しくは、「STEP3 設定ユーティリティーを見てみよう」「UPnP設定」(P.51)を参照してください。

注意
- **Windows にて、ユニバーサル プラグ アンド プレイ（UPnP）に関するセキュリティーの脆弱性が発見されています。ご利用になる前に、Windows の修正プログラムをインストールしてください。**
  詳細な設定方法は、Microsoft にお問い合わせください。
- **UPnP がサポートされている OS は、Windows XP、Windows Me のみです。**

● UPnP に対応していないネットワークゲームの場合

UPnP に対応していないネットワークゲームの場合は、DMZ 機能を使います。設定ユーティリティーで次の設定を行います。

1 「アドバンスド設定」の「DMZ設定」でネットワークゲームするパソコンを選択します。
詳しくは、「STEP3 設定ユーティリティーを見てみよう」「DMZ設定」(P.47)を参照してください

注意 **DMZ機能の対象となっているパソコンは、本製品のファイアウォール機能が無効になるため、セキュリティーが弱くなります。DMZ機能は、必要な場合のみ有効にしてご使用ください。**

音声／ビデオチャットなどのツールを使うには

ここでは、代表的なソフトとして、NetMeeting 、MSN Messenger、Windows Messengerを利用する場合の設定を説明しています。

本製品では、Microsoft Windows Messenger（Ver.4.7以降）、MSN Messenger（Ver.4.6以降）およびNetMeetingに対応しています。各アプリケーションの使い方は、ヘルプやホームページを参照してください。

● NetMeeting

設定ユーティリティーで次の設定を行います。

1 「アドバンスド」の「DMZ設定」で設定するパソコンを選択します。
詳しくは、「STEP3 設定ユーティリティーを見てみよう」「DMZ設定」（P.47）を参照してください。

注意

DMZ機能の対象となっているパソコンは、本製品のファイアウォール機能が無効になるため、セキュリティーが弱くなります。DMZ機能は、必要な場合のみ有効にしてご使用ください。

● Windows Messenger（Ver.4.7以降）、MSN Messenger（Ver.4.6以降）

本製品はUPnPに対応しているので、Windows Messenger、MSN Messengerを利用する際は、自動的に本製品の設定が行われます。
設定ユーティリティーで次の設定を行います。

1 「アドバンスド設定」で、「UPnP設定」の「UPnP」を「有効」にします。
詳しくは、「STEP3 設定ユーティリティーを見てみよう」「UPnP設定」（P.52）を参照してください。

注意

- **MSN Messenger、NetMeetingは1台のパソコンでのみ使用できます。**
- **対応OSはWindows XP Service Pack1（SP1）以降のみです。**

外部にサーバーを公開するには

●バーチャルサーバーを使用する

バーチャルサーバー機能を利用して外部にサーバーを公開する設定例です。

1 「アドバンスド設定」から「バーチャルサーバー」をクリックします。

2 「有効」を選択して［設定］ボタンをクリックします。

3 ［追加］ボタンをクリックし、「バーチャルサーバーの追加」画面を開きます。接続先のパソコンを選択し、「プロトコル」、「入力ポート番号」および「出力ポート番号」を設定します。
詳しくは、「STEP3 設定ユーティリティーを見てみよう」「バーチャルサーバー」(P.48)を参照してください。

マルチ PPPoE で 2 つの接続先を使い分けるには（プロバイダーと、フレッツ・グループアクセス／フレッツ・グループ／フレッツ・コネクト／フレッツ・コミュニケーションを利用する）

●プロバイダーとフレッツ・グループアクセス（NTT 東日本）／フレッツ・グループ（NTT 西日本）の端末型払い出しに接続する

通常はプロバイダーに接続し、フレッツ・グループアクセス（NTT 東日本）／フレッツ・グループ（NTT 西日本）の端末型払い出しを利用して、それぞれのパソコンのファイル共有などが必要な場合に、フレッツ・グループアクセス（NTT 東日本）/ フレッツ・グループ（NTT 西日本）に自動的に接続されます。
通常のプロバイダーへの接続設定を「アカウント 1」に、フレッツ・グループアクセス（NTT 東日本）/ フレッツ・グループ（NTT 西日本）への接続設定を「アカウント 2」に設定する例です。

1 「アドバンスド設定」の「WAN側設定（マルチPPPoE）」で「セッション-2 設定」ボタンをクリックします。「PPPoE 接続アカウント選択」で「2」を選択します。
※「2」を選択すると、「接続先設定」の内容が有効になります。

2 グループ管理者から通知された「ユーザー名」、「パスワード」（●または＊で表示）を入力します。

3 「接続方法」で「トリガー接続」を選択し、「無通信時間制限」を「15」分に設定します。

4 「DNSサーバー」で「自動取得」を選択します。

5 [設定] ボタンをクリックし、設定内容を有効にします。

6 [戻る] ボタンをクリックし、「マルチPPPoE」で「接続先設定」をクリックします。

7 [ルール選択] で「IPアドレス」を選択し、「接続先IPアドレス」にグループ管理者から通知された接続先IPアドレスを入力します。

8 [設定] ボタンをクリックし、設定内容を有効にします。

メモ

- **ファイル共有など、使用するアプリケーションによっては、バーチャルサーバー（P.73）の設定が必要になります。**
- **本製品は、LAN 型払い出しには対応しておりません。**

●フレッツ・コネクト（NTT 東日本）を利用する

1 「アドバンスド設定」の「システム設定」画面の「ダイレクトPPPoE」を有効にします。

2 「更新」ボタンをクリックし、設定内容を有効にします。

3 NTT東日本のホームページより「フレッツ接続ツール」をダウンロードし、手順に従って設定してください。

●フレッツ・コミュニケーション（NTT 西日本）を利用する

1 「アドバンスド設定」の「システム設定」画面の「ダイレクトPPPoE」を有効にします。

2 「更新」ボタンをクリックし、設定内容を有効にします。

3 NTT西日本のホームページより「フレッツ・コミュニケーションツール」をダウンロードし、手順に従って設定してください。

STEP5 トラブルや疑問があったら

本製品を使っていて「困ったな」「うまく動かない…」と思ったとき、疑問があったときは、このSTEP で解決方法を探してください。

解決のステップ

①取扱説明書や契約書を確認する。管理者に確認する

それでも解決しなかったら…

②この STEP の Q&A を確認する

＜トラブルは？＞

インターネットに接続できない
- ①プロバイダーとの契約や回線工事は完了していますか？
- ②電源は入っていますか？
- ③モデム⇔インターネット側への回線は正しく接続されていますか？
- ④ケーブル（モデム⇔本製品⇔パソコン）は正しく接続されていますか？
- ⑤その他の接続は大丈夫ですか？
- ⑥パソコンのネットワークアダプタは正しく動作していますか？
- ⑦パソコンのネットワーク設定は正しく設定しましたか？
- ⑧プロバイダーからの設定事項を正しく設定しましたか？
- ⑨Web ブラウザーの設定は正しいですか？

パソコン同士がつながらない
- ・ファイルやプリンターが利用できるようにネットワーク設定をしましたか？

本製品の設定ユーティリティーが起動しない
本製品の設定ユーティリティーにログインできない
ファームウェアのアップデートに失敗した

＜疑問は？＞

パソコンの IP アドレスを調べたい
本製品のユーザー名、パスワードを変更したい
最新のファームウェアを入手してアップデートしたい
本製品の設定のバックアップを取る。元に戻す
本製品を再起動する
本製品を工場出荷時の状態にもどす

それでも解決しなかったら…

③コレガのホームページの情報を活用する

それでも解決しなかったら…

④それでも解決しなければ、サポート窓口に問い合わせてみる
詳しくは、本書裏表紙の「製品に関するご質問は…」をご覧ください。

取扱説明書や契約書を再確認する。管理者に確認する

本書以外にもプロバイダー契約時の設定取扱説明書、モデムの取扱説明書、パソコンに付属の取扱説明書をお手元にご用意ください。ネットワークにつながらない原因は複雑なため、本製品の設定が正しくても、他の設定が間違っていたり、外部の装置の問題で正しくつながらないこともあります。下記の「インターネットに接続できない」の項目をすべて確認してもつながらない場合は、プロバイダー、パソコンのメーカーなどに問い合わせてみてください。なお、企業でお使いの方はネットワークの設定がオフィスによって決められていることがあります。接続できない場合はネットワーク管理部門や部内のネットワーク管理者などに確認してください。

Q&A

■インターネットに接続できない

以下の項目については、順番に確認し☑のようにチェックを付けてください。

①プロバイダーとの契約や回線工事は完了していますか？

□ 回線適合調査でサービス可能と認定され、工事は完了したか
□ プロバイダーの工事は完了したか

②電源は入っていますか？

各接続機器の電源LEDがついているか、またはACアダプターなどが外れていないかを確認してください。
□ ADSLモデムまたは回線終端装置などに電源が入っているか（ACアダプターが外れていないか）
□ 本製品に電源が入っているか（ACアダプターが外れていないか）

③モデム⇔インターネット側への回線は正しく接続されていますか？

モデム（ADSLモデム、回線終端装置）とケーブル（電話回線用モジュラケーブル、同軸ケーブル、光ケーブル）が外れていないかを確認してください。詳しい接続については、モデムや回線終端装置に付属の取扱説明書をお読みください。

④ケーブル（モデム⇔本製品⇔パソコン）は正しく接続されていますか？

□ 本製品とADSLモデムまたは回線終端装置はLANケーブルで正しく接続されているか

本製品とモデムが正常に接続されているとWAN LEDが点灯します。点灯していない場合は、ケーブルを差し直すなどしてみてください。また、モデムにMDI/MDI-Xを切り替えるスイッチがあれば切り替えてみてください。

□ 本製品とパソコンはLANケーブルで正しく接続されているか

パソコンと本製品が正常に接続されている場合は、パソコンに電源が入っていると本製品の前面にある各LANポートのLink/Act LEDが点灯します。パソコンにLANボードまたはLANカードがきちんと挿入されているか、LANポートに正しくケーブルが接続されているかも再度確認しましょう。

⑤その他の接続は大丈夫ですか？

□スプリッタの出力ポートの接続は正しいか（電話用と ADSL モデム用があります）

ADSL モデム、スプリッタの取扱説明書を参照して確認してください。

⑥パソコンのネットワークアダプタは正しく動作していますか？

□パソコンのネットワークアダプタのドライバーの設定は正しいか

「STEP2 ネットワークに接続しよう」「パソコンのネットワーク設定をしよう」（P.15）を参照してパソコンのネットワークアダプタが正常に動作していることを再度確認してください。

⑦パソコンのネットワーク設定は正しく設定しましたか？

□パソコンの TCP/IP が正しく設定されているか

「STEP2 ネットワークに接続しよう」「パソコンのネットワーク設定をしよう」（P.15）を参照してパソコンの TCP/IP が正しく設定されていることを再度確認してください。

⑧プロバイダーからの設定事項を正しく入力しましたか？

□契約時の設定事項を本製品およびパソコンに正しく入力したか

「STEP2 ネットワークに接続しよう」「本製品の設定をしよう」（P.33）で行ったプロバイダーからの設定事項をすべて設定ユーティリティーに正しく入力しないとインターネットには接続できません。パスワードは入力を間違っても画面上で確かめることができませんので、再度入力をやり直してみてください。大文字／小文字が区別される場合もありますので注意してください。

⑨ Web ブラウザーの設定は正しいですか？

□Web ブラウザーの設定項目は正しいか

Webブラウザーの設定についてはプロバイダー契約時の設定取扱説明書、パソコンに付属の取扱説明書や OS のヘルプなどを参照してください。

Windows 95/98をお使いで、はじめてインターネットに接続した場合、インターネット接続ウィザードが表示されます。その場合、次の手順で設定してください。

1 [スタート]ー「プログラム」ー「通信」ー「インターネット接続ウィザード」をクリックします。

2 「インターネット接続を手動で設定するか、ローカルエリアネットワーク（LAN）を使って接続します」をクリックし、[次へ]をクリックします。

3 「ローカルエリアネットワーク（LAN）を使って接続します」をクリックし、[次へ]をクリックします。

4 「プロキシーサーバーの自動検出」のチェックボックスをクリックしてチェックを外します。

5 「インターネットメールアカウントの設定」画面で「いいえ」をクリックし、[次へ]をクリックします。

6 「完了」をクリックします。

パソコンをダイヤルアップ環境で利用されていた方は、お使いのOSによってはWebブラウザーの設定を変更する必要があります。プロバイダー契約時の設定取扱説明書、パソコンに付属の取扱説明書やOSのヘルプなどを参照してください。

■パソコン同士がつながらない

●ファイルやプリンターが利用できるようにネットワーク設定をしましたか？

□パソコンのネットワーク共有サービスの設定を行う

本製品のLANポートに接続されたパソコン同士がデータのやり取りをするには、共有ネットワークの設定が必要です。複数台のパソコンでデータのやり取りをする場合、Windows では Microsoft ネットワーク共有サービスを使ったワークグループ接続（ピアツーピア接続）が一般的です。設定方法については、各 OS のヘルプを参照してください。

■本製品の設定ユーティリティーが起動しない

●パソコンのネットワーク設定は正しくできていますか？

□パソコンの TCP/IP が正しく設定されているか

「STEP2 ネットワークに接続しよう」「パソコンのネットワーク設定をしよう」（P.15）を参照して、パソコンの TCP/IP が正しく設定されているか再度確認してください。

●プロキシサーバーを使う設定になっていませんか？

□Web ブラウザーのプロキシサーバーの設定は正しいか

「STEP2 ネットワークに接続しよう」「Webブラウザーの設定をしよう」（P.29）を参照して、Webブラウザーでプロキシサーバーを使用しない設定にしてください。

●すでにフレッツ・ADSL/B フレッツに接続している場合は

これまでパソコンに ADSL モデムなどを直接接続して、フレッツ ADSL/B フレッツに接続していた場合は、次の点を確認してみてください。

□ Windows XP で、PPPoE 接続の設定がされていませんか？

Windows XP の「コントロールパネル」－「ネットワーク接続」で、「広帯域」の接続が作成されていると、ルーターの設定ができません。「広帯域」の接続を削除してください。

□ 「フレッツ接続ツール」を使用していませんか？

NTT より配布されている「フレッツ接続ツール」を使用して、フレッツ・ADSL/B フレッツに接続するように設定されていると、ルーターの設定ができません。「フレッツ接続ツール」を削除してください。

■本製品の設定ユーティリティーにログインできない

●別のパソコンがログインしていませんか？

別のパソコンがログインしていないか確認してください。別のパソコンがログアウトしたら、もう一度ログインしなおしてください。

●ユーザー名、パスワードを忘れた

本製品を工場出荷時の状態に戻してください。パスワードがクリアされます。本製品を工場出荷時の状態に戻す方法は、このPARTの「本製品を工場出荷時の状態にもどす」（P.69）を参照してください。ユーザー名、パスワードを設定したい場合は、このPARTの「本製品のユーザー名、パスワードを変更したい」（P.65）を参照して、再設定してください。

注意 **本製品を工場出荷時の状態に戻すと、パスワードだけでなく、今まで設定していた情報がすべて消えてしまいます。再設定してください。**

■ファームウェアのアップデートに失敗した

本製品を工場出荷時の状態に戻してから、再度、ファームウェアのアップデートを行ってください。本製品を工場出荷時の状態に戻す方法は、このPARTの「本製品を工場出荷時の状態にもどす」（P.69）を参照してください。

注意 **本製品を工場出荷時の状態に戻すと、今まで設定していた情報がすべて消えてしまいます。再設定してください。**

■パソコンのIPアドレスを調べたい

本製品よりパソコンに割り当てられたIPアドレスを調べる場合は、次の方法で行ってください。Windows以外のOSについては、OSのヘルプや取扱説明書を参照してください。

＜Windows Me/98/95の場合＞

1 ［スタート］−「ファイル名を指定して実行」をクリックします。

2 「名前」の欄に「winipcfg」と入力して、［OK］をクリックします。

3 パソコンで使用しているネットワークアダプタを選択します。
パソコンのIPアドレスが表示されます。
正しく表示されない場合は、［解放］をクリックした後、［すべて書き換え］をクリックしてください。

＜Windows XP/2000の場合＞

1 [スタート]－「すべてのプログラム」(Windows 2000の場合は「プログラム」)－「アクセサリ」－「コマンドプロンプト」をクリックします。

2 キーボードから「ipconfig」と入力して、「Enter」キーを押します。

パソコンのIPアドレスが表示されます。

※画面例
「C:¥Documents and Settings¥corega」の部分は、
パソコンの使用環境によって表示が異なります。

3 IPアドレスを確認します。

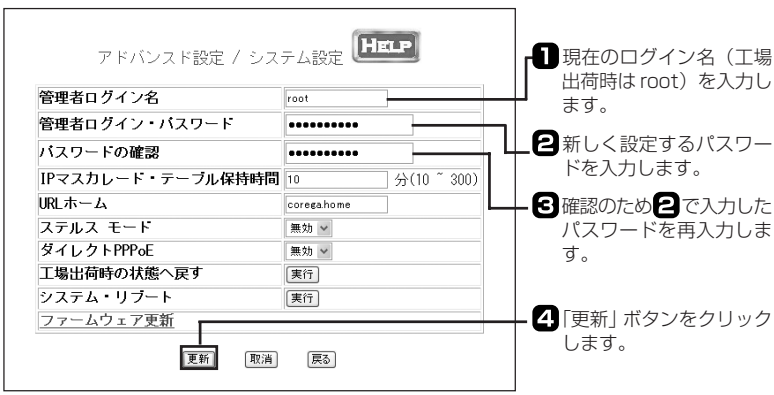
正しく表示されない場合は、「ipconfig　/renew」と入力して、「Enter」キーを押します。

半角スペースを入力します。

■本製品のユーザー名、パスワードを変更したい

本製品のユーザー名、パスワードは、次の手順で変更できます。

1 設定ユーティリティーを起動し、「アドバンスド設定」－「システム設定」ボタンをクリックします。
設定ユーティリティーの開きかたは、「本製品を設定しよう」「簡単に接続しよう」(P.33)をご覧ください。



注意

- 工場出荷時の状態では、パスワードは設定されていません。
- 入力したパスワードは、画面上では「●」または「＊」で表示されます。入力ミスのないように注意してください。また、「”」および「"」以降に入力した文字は、保存されません。

2 「システム･リブート」の「実行」をクリックします。

3 ネットワークパスワード入力画面が表示されるので、ユーザー名と新しいパスワードを入力して「OK」ボタンをクリックします。

ログイン名およびパスワードで空白を設定すると、認証を行わずに設定ユーティリティーにアクセスすることができます。

■最新のファームウェアを入手してアップデートする

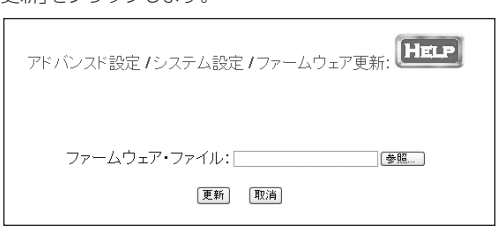
本製品の機能強化のため、予告なくファームウェアのバージョンを更新することがあります。
最新のファームウェアはコレガのホームページ（http://www.corega.co.jp/）から入手してください。

注意

- ファームウェアをアップデートする前に、本製品の設定内容をメモしておいてください。
- ファームウェアをアップデート中は、他の操作を行ったり、本製品の電源を切ったりしないでください。ファームウェアのアップデートに失敗したり、本製品の故障の原因になります。

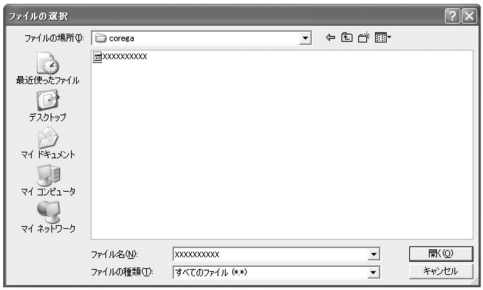
ここでは例として「C:¥corega」に最新ファームウェアを保存した場合で説明します。

1 設定ユーティリティーを起動し、「アドバンスド設定」−「システム設定」−「ファームウェアの更新」をクリックします。

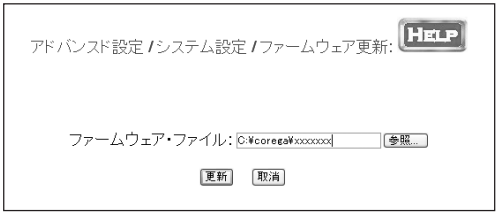


2 「参照」ボタンをクリックすると、「ファームウェア更新中にブラウザーの操作を行うと更新が中断されます」と表示されます。「OK」をクリックします。

3 「ファイルの選択」画面が表示されますので、ダウンロードした最新のファームウェアを選択し「開く」をクリックします。

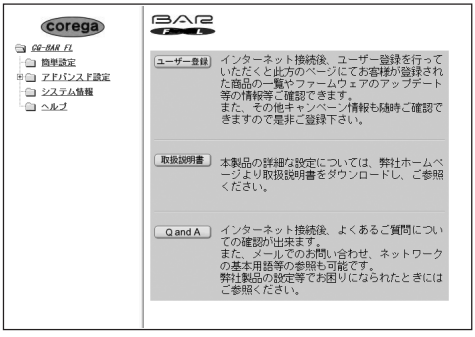


4 「ファームウェア・ファイル」欄にファイル名が表示されているのを確認して「更新」をクリックします。



5 「次のダイアログが表示されたら「OK」をクリックします。
全面のSelf Test LEDが点滅し、ファームウェアの更新が始まります。

6 「ファームウェアの更新が完了するとHome画面が表示されます。



以上で、ファームウェアの更新は終了です。

■本製品を再起動する

本製品のシステムを再起動します。設定を変更した場合には、再起動して設定内容を反映させてください。「工場出荷時の状態に戻したい」とは異なりますのでご注意ください。
再起動には、次の２つの方法があります。

● INIT スイッチを使って再起動する

1　本製品の電源が入っている状態で、ゼムクリップなど堅くて先の細いものを使用し、本製品背面にあるINITスイッチを押します。

2　Power LED以外のLEDが消灯したら、INITスイッチを押し、すぐに離します。

Link/Act LED が点灯すれば、再起動の完了です。

●設定ユーティリティーを使って再起動する

1　設定ユーティリティーを起動し、「アドバンスド設定」－「システム設定」ボタンをクリックします。

2　「システムリブート」の「実行」ボタンをクリックし、「更新」ボタンをクリックします。

「『システムリブート』を実行しますか？」と表示されるので、「OK」ボタンをクリックします。本製品が再起動し、P.42 の設定ユーティリティーの Home 画面が表示されます。

■本製品を工場出荷時の状態にもどす

本製品を工場出荷時（初期値）の状態に戻すと今まで設定していた情報がすべて初期値になります。重要な設定をしている場合は、設定内容を書き残すなど、後で再設定できるようにしておいてください。

工場出荷時の状態に戻すには、次の２つの方法があります。２つの方法に違いはありません。どちらを使ってもかまいません。

● INIT スイッチを使って初期化する

1　本製品の電源が入っている状態で、ゼムクリップなど堅くて先の細いものを使用し、本製品背面のINITスイッチを押し続けてください。

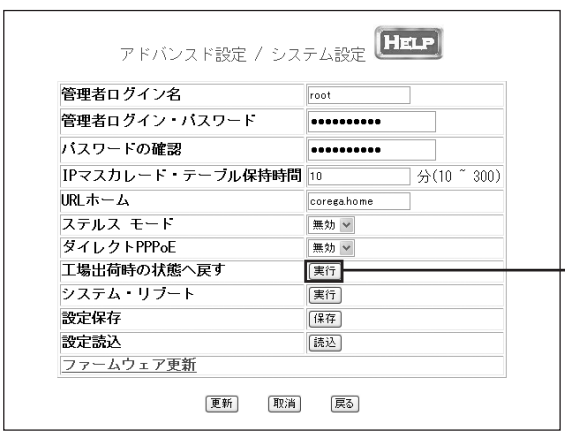
2　Self Test LEDが点滅したらINITスイッチを離します。

Self Test LED が消灯すれば初期化の完了です。

●設定ユーティリテ ィーを使って初期化する

1　設定ユーティリティーを起動し、「アドバンスド設定」－「システム設定」ボタンをクリックします。

2　「工場出荷時の状態へ戻す」の「実行」ボタンをクリックします。



「『工場出荷時の状態に戻す』を実行しますか？」と表示されましたら「OK」ボタンをクリックします。「処理しました」と表示され、工場出荷時の状態に戻ります。「完了」をクリックすると、設定ユーティリティーのHome画面が表示されます。

コレガのホームページの情報を活用する

コレガのホームページでは、お客様からのよくあるお問い合わせ情報やネットワークの一般知識を分かりやすく解説しているページを公開中です。困っていることを解決するヒントになります。

http://www.corega.co.jp

製品仕様

	製品名		CG-BARFL
ネットワークインターフェース	WAN 側	100BASE-TX/10BASE-T	1 ポート（MDI/MDI-X 自動認識）
		サポート規格	IEEE802.3（10BASE-T）、IEEE802.3u（100BASE-TX Fast Ethernet）
	LAN 側	100BASE-TX/10BASE-T	4 ポート（全ポート MDI/MDI-X 自動認識）
		サポート規格	IEEE802.3（10BASE-T）、IEEE802.3u（100BASE-TX Fast Ethernet）、IEEE802.3x（Flow conntrol）
		アクセス方式	CSMA/CD
		データ伝送方式	100Mbps/10Mbps
		スイッチング方式	ストア＆フォワード方式
ハードウェア構成	本体仕様	取得承認	EMI 規格 VCCI クラス B
		定格入力電圧	DV 5V
		最大消費電流	1A
	本体使用環境条件	保管時温度	－20～60℃
		保管時湿度	95%以下（ただし結露なきこと）
		動作時温度	0～40℃
		動作時湿度	80%以下（ただし結露なきこと）
	本体外形寸法（突起物含まず）		177mm（W）×103mm（D）×32mm（H）
	本体質量（ACアダプター含まず）		270g
基本機能	設定方式		Web ブラウザー
	初期化方式		INIT スイッチ /Web ブラウザー
	ファームウェア更新方法		Web ブラウザー
	対応プロトコル		DHCP, PPPoE, TCP/IP, UDP
	対応 OS		Windows XP/2000/Me/98、Mac *
各種機能	アドレス変換		NAT/IP マスカレード
	DHCP サーバー / クライアント		サーバー（LAN 側最大 253 クライアント）、クライアント（WAN 側）
	UPnP		○
	NetMeething（同時使用可能数）		○（1）
	MSN Messenger（同時使用可能数）		○（1）
	Windows Messenger（同時使用可能数）		○（1）
	PPPoE（同時に使用可能なアカウント数）		○（2/ ダイレクト PPPoE を含む）
	DMZ		○
	バーチャルサーバー		○
	ログ記録		○
	ファイアウォール		○（DoS アタック防御機能あり）

* MAC OS では本製品の設定を変更することはできません。

MAC アドレスについて

ご契約されているプロバイダーやインターネットサービスによっては、インターネットに接続できる機器を事前に申請する必要があります。その場合、ADSL モデムなどに直接接続するネットワーク機器（本製品も含むパソコンなど）の MAC アドレスをプロバイダーに対して事前申請してください。

本製品の WAN 側の MAC アドレスは本体底面に記入されています。（P.14）LAN 側の MAC アドレスについては、設定ユーティリティーのシステム情報で確認できます。（P.53）

マルチ PPPoE 機能での制限事項

マルチ PPPoE 接続の設定については、「WAN 側の設定」(P.45) を参照してください。

WAN側設定	マルチPPPoE	
	セッション1	セッション2
マルチPPPoE	○	○
接続方法	○	○
無通信時間監視	○	○
接続先設定>IPアドレス	×	○
接続先設定>ドメイン	×	○

フレッツ・グループアクセス/フレッツ・グループ	マルチPPPoE	
	セッション1	セッション2
端末型払い出し	×	○

Messenger系	マルチPPPoE	
	セッション1	セッション2
Windows Messenger4.7	○	×
MSN Messenger4.6	○	×
MSN Messenger4.7以降*1	○	×

アドバンスドインターネット	マルチPPPoE	
	セッション1	セッション2
DMZ	○	×

バーチャルサーバー	マルチPPPoE	
	セッション1	セッション2
バーチャルサーバー	○	×

セキュリティー	マルチPPPoE	
	セッション1	セッション2
DoS	○	○
SPI	○	○
ICMP	○	○

ログ機能	マルチPPPoE	
	セッション1	セッション2
DoS攻撃	○	○
インターネット接続	○	○
アクセス制限	○	○

その他設定	マルチPPPoE	
	セッション1	セッション2
UPnP*2	○	×
MTU手動設定	○	○

*1 ：Windows XP のみ対応
*2 ：ただし、WAN 側切断処理（WAN の切断機能を有効にする）は Windows XP がゲートウェイアイコンを一つしか持てない為セッション 1 のみ有効です。

推奨ブラウザー

OS	推奨ブラウザー
Windows XP	Microsoft Internet Explorer 6.0 SP1 以降
Windows 2000	Microsoft Internet Explorer 6.0 SP1 以降
Windows Me	Microsoft Internet Explorer 5.5
Windows 98	Microsoft Internet Explorer 5.5

索引

数字

100M LED 12

アルファベット

DC ジャック 32
DMZ ..... 47、55、56、73
DNS サーバー 46
DoS
　DoS アタックログ 52
Home 42
INIT スイッチ 13
　INIT スイッチを使う ..... 70、71
IP アドレス
..... 17、21、26、47、64、65
　パソコンの IP アドレスを調べたい 64
LAN
　LAN（LAN 側設定） 44
　LAN 側 IP アドレス 44
　LAN ポート ..... 32、61、63
Link/Act LED 12
MAC アドレス ..... 44、46、51
　MAC アドレスについて 71
　MAC アドレスラベル 14
MTU を変更する 46
NetMeeting 56
Power LED 12
Q&A 61
Self Test LED ..... 12、32、68
TCP/IP
　TCP/IP プロトコルを確認する ..... 16、20、24
　TCP/IP をインストールする ..... 23、27
UPnP
　UPnP に対応したネットワークゲームの場合 55
　UPnP に対応していないネットワークゲームの場合
..... 55
　UPnP 設定 52
WAN LED 12
WAN（WAN 側設定） 45
　WAN ポート ..... 12、13
Web ブラウザーの設定をしよう 28
Windows 2000 で利用しよう 19
Windows Me/98/95 で利用しよう 24
Windows Messenger（Ver.4.7 以降）、
MSN Messenger（Ver.4.6 以降） 56
Windows XP で利用しよう 15

五十音

【ア行】

アドバンスド設定 42
インターネット接続ログ 52
インターネットに接続する 39
　インターネットに接続できない 61
音声／ビデオチャットなどのツールを使う 56

【カ行】

解決のステップ 60
外部にサーバーを公開する 57
各部の名称と機能 12
簡単に接続する 33
簡単設定 ..... 34、42
工場出荷時の状態に戻す 69

【サ行】

再起動する 68
ファームウェアを入手してアップデートする 66
準備 11
使用環境の確認 11
シリアル番号ラベル 14
推奨ケーブル 10
常時接続 46
ステルスモード 43
セキュリティー 49
接続
　接続先設定 ..... 45、46
　接続ユーザー名 35
　接続ログ 52
　パソコン同士がつながらない 63
設置する場所 30
設定をする ..... 15、33
設定画面の各機能 41
設定保存 44
設定ユーティリティーを使う 40
　設定ユーティリティーを見てみよう 40
　設定ユーティリティーが起動しない 63
　設定ユーティリティーの全体構成 40
　設定ユーティリティーの使い方 40
設定読込 44

【タ行】

ダイレクト PPPoE ..... 43、60
他のパソコンを接続する場合 39
テストに失敗したとき 37
電源を入れる 31
　電源の入れ方／切り方 31
　電源の取り方 31
添付品 9
ドメイン名 47
トラブルや疑問 61
取扱説明書や契約書を再確認する。管理者に確認する ... 61
トリガー接続 46

【ナ行】

ネットワークアダプタの状態を確認する ... 15、19、24

ネットワークゲームをする 55
ネットワークに設定する 15

【ハ行】

パスワード ..... 11、33、43、46
　接続パスワード 35
　パスワードを変更する 65
　パスワードを忘れた 64
パソコンと本製品を接続する 30
パソコンのネットワーク設定をする 15
パソコン、モデムと本製品を接続する 32
バーチャルサーバー ..... 48、57
バックアップを取る 44
ファームウェア
　ファームウェア更新 66
　ファームウェアバージョン 53
フレッツ・グループアクセス 58
フレッツ・グループ 58
フレッツ・コネクト 59
フレッツ・コミュニケーション 59
付録 71
プロトコル 48
プロバイダーからドメイン名も指定されている場合 ..... 18、22、26
本体 9

【マ行】

マグネットの取りつけ方 31
マルチ PPPoE 機能での制限事項 72
マルチ PPPoE 接続 45
マルチ PPPoE で 2 つの接続先を使い分ける 58
無通信時間監視 ..... 46、58、65

【ヤ行】

ユーザー名 ..... 46、48、51、75

【ラ行】

リセット機能 68
ログインできない 64
ログ表示 52
　ログ情報 52

おことわり

・ 本書は、株式会社コレガが作成したもので、すべての権利を弊社が保有しています。弊社に無断で本書の一部または全部をコピーすることを禁じます。
・ 予告なく本書の一部または全体を修正、変更することがありますがご了承ください。
・ 改良のため製品の仕様を予告なく変更することがありますがご了承ください。
・ 本製品の仕様またはそのご使用により発生した損害については、いかなる責任も負いかねますのでご了承ください。

©2004 株式会社コレガ
corega は、株式会社コレガの登録商標です。
Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
Mac OS は、Apple Computer.Inc の米国およびその他の国における登録商標です。
フレッツは、東日本電信電話株式会社および西日本電信電話株式会社の登録商標です。
その他、この文書に掲載しているソフトウェアおよび周辺機器の名称は各メーカーの商標または登録商標です。
2004 年 3 月 Rev.A　初版

保証と修理について

■保証について

別紙の「製品保証規定」を必ずお読みになり、本製品を正しくご使用ください。正しい使用方法で使用した場合のみ、保証の対象となります。本製品の保証期間については、保証書に記載されている保証期間をご覧ください。

■修理について

故障と思われる現象が生じた場合は、まず取扱説明書を参照して、設定や接続が正しく行われているかを確認してください。現象が改善されない場合は、裏表紙に記載の「お問い合わせ修理依頼に関する必要事項」を参照して必要事項をご記入の上、保証書および購入日の証明できるもののコピー（レシートなど可）を添付し、弊社サポートセンター宛てに製品（添付品一式と共に）を送付ください。製品を送付する際は、以下の点にご注意ください。

※弊社へのお持ち込みによる修理は受け付けておりません。

・修理期間中の代替機などは弊社では用意しておりませんので、予めご了承ください。
・保証書に販売店の押印がない場合は、保証期間内であっても有償修理になる場合があります。
・製品購入日の証明ができない場合、無償修理の対象となりませんのでご注意ください。
・修理依頼時の運送中の故障や事故に関しては、弊社はいかなる責任も負いかねますので、予めご了承ください。

■有償修理について

有償修理の場合は、ご購入の販売店へお持ちください。下記のホームページに有償修理価格が記載されておりますので、ご覧ください。

http://www.corega.co.jp/repair/

製品に関するご質問は・・・

製品に関するご質問は、弊社ホームページ掲載の「お問い合わせ用紙」または下記の必要事項をご記入いただいた書面を用意して、コレガサポートセンターまでメール、FAX、電話のいずれかでお問い合わせください。

■電話、FAX でのお問い合わせ先

corega　サポートセンター
TEL.03-3797-1085
FAX.045-476-6294
＜受付時間＞
10:00～12:00、13:00～18:00　月～金（祝・祭日を除く）

■メールでのお問い合わせ先

弊社ホームページからお問い合わせいただけます。
下記の URL からユーザー登録をした後、お問い合わせください。

http://www.corega.co.jp/faq

～弊社ホームページのご案内～

弊社ホームページでは、各種商品の最新の情報、最新ファームウェア、よくあるお問い合わせなどを提供しています。本製品を最適にご利用いただくために、定期的にご覧いただくことをお勧めします。

http://www.corega.co.jp/

■お問い合わせ、修理依頼に関する必要事項

あらかじめ下記の必要事項を控えておいてください。

- 製品名
- シリアル番号（S/N）、リビジョンコード（Rev.）
- お名前、フリガナ
- 連絡先電話番号、FAX 番号
- 購入店
- 購入日付
- お使いのパソコン機種
- OS
- お問い合わせ内容（できる限り詳しくお知らせください）
- ネットワーク構成